

2019年度 指標管理表

令和元年 9 月

帯 広 市

指標管理表の見方

（１）指標番号・指標名

各施策に設定した158本の成果指標の通し番号と指標名を記載しています。

（２）所管部課

成果指標を所管する課名を記載しています。

（３）施策番号・施策名

第六期帯広市総合計画の50項目の施策番号と施策名を記載しています。

（４）指標の説明

成果指標の内容の説明と設定の考え方を記載しています。

（５）実績値の算定方法、出典等

成果指標の実績値の算定式や時点、データの出典について記載しています。

（６）目標値設定の考え方

平成31年度の目標値設定の考え方を記載しています。

（７）目標値、実績値、判定

成果指標の基準年、基準値、単位を記載しています。

評価対象年度の目標値、実績値、達成率を記載しています。

実績値の判定結果を４段階（a b c d）で記載しています。

※各年度に設定した目標値は、中間年において点検し、必要な見直しを行いました。

（８）評価基準

成果指標の評価基準（a b c d）を記載しています。

（９）評価基準の考え方

成果指標の達成率や評価基準（a b c d）の考え方を記載しています。

指 標 管 理 表

指標番号	1	指標名	自主防災組織数
所管部課	総務部 総務課		
施策番号	1-1-1	施策名	地域防災の推進
施策の目標	行政と市民、事業者、関係機関の連携による防災体制の整備や建物の耐震化の推進などにより、地域防災力の向上をはかります。		

1. 指標の説明

連合町内会を基本とする33区域において、設立された自主防災組織数。
防災体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度3月末時点の数値。
総務課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

33区域全てに自主防災組織が設立されることをめざします。
今後の組織設立には連合町内会単位でない組織もあり、設立準備に時間を要することから、概ね1カ年に1組織の設立をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	24	24	24	24	25	25	26	26	26	26	
22	目標値	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
単位	達成率	200.0%	100.0%	66.7%	50.0%	60.0%	50.0%	57.1%	50.0%	44.4%	40.0%	
組織	判 定	a	a	b	c	c	c	c	c	c	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	2	指標名	自主防災組織の訓練実施率
所管部課	総務部 総務課		
施策番号	1-1-1	施策名	地域防災の推進
施策の目標	行政と市民、事業者、関係機関の連携による防災体制の整備や建物の耐震化の推進などにより、地域防災力の向上をはかります。		

1. 指標の説明

1年間に防災訓練等を実施した自主防災組織が、全自主防災組織に占める割合。防災体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（4月当初から3月末まで）に防災訓練等を実施した自主防災組織が、全自主防災組織に占める割合。
総務課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度5%程度増加させ、100.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	58.3	61.3	60.4	59.6	72.0	84.0	80.8	88.5	96.2	88.5	
45.5	目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
単位	達成率	284.4%	166.3%	102.8%	72.3%	108.2%	130.5%	102.3%	108.9%	113.9%	86.9%	
%	判 定	a	a	a	b	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	3	指標名	住宅の耐震化率
所管部課	都市建設部 建築指導課		
施策番号	1-1-1	施策名	地域防災の推進
施策の目標	行政と市民、事業者、関係機関の連携による防災体制の整備や建物の耐震化の推進などにより、地域防災力の向上をはかります。		

1. 指標の説明

昭和56年に改正された建築基準法に基づく耐震基準に適合する住宅戸数が、住宅総戸数に占める割合。
災害に強い都市づくりの進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末時点の数値。
建築指導課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市耐震改修促進計画に基づき、H27までに90.0%をめざし、H28以降も建物の建て替え等がすすむことから90.0%以上をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	84.1	85.1	85.6	86.3	87.0	87.5	88.2	88.7	89.2	89.8	
83.0	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
単位	達成率	110.0%	105.0%	86.7%	82.5%	80.0%	75.0%	74.3%	81.4%	88.6%	97.1%	
%	判 定	a	a	b	b	b	b	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	4	指標名	特定建築物の耐震化率
所管部課	都市建設部 建築指導課		
施策番号	1-1-1	施策名	地域防災の推進
施策の目標	行政と市民、事業者、関係機関の連携による防災体制の整備や建物の耐震化の推進などにより、地域防災力の向上をはかります。		

1. 指標の説明

昭和56年に改正された建築基準法に基づく耐震基準に適合する特定建築物数（多数の市民が利用する一定規模の建築物）が、特定建築物総数に占める割合。
災害に強い都市づくりの進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末時点の数値。
建築指導課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市耐震改修促進計画に基づき、H27までに90.0%をめざし、H28以降も建物の建て替え等がすすむことから90.0%以上をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	76.2	78.0	78.7	80.0	81.7	82.3	85.1	85.3	85.8	86.3	
73.7	目標値	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
単位	達成率	58.1%	68.3%	60.2%	61.2%	65.0%	60.1%	69.9%	71.2%	74.2%	77.3%	
%	判 定	c	b	c	c	c	c	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	5	指標名	人口1万人当たりの火災発生件数
所管部課	総務部 消防推進室		
施策番号	1-1-2	施策名	消防・救急の充実
施策の目標	消防・救急体制の充実とともに、行政と市民、事業者、関係機関が連携して、防火活動や救急活動を行い、火災や事故などから市民の生命や財産を守ります。		

1. 指標の説明

帯広市における人口1万人当たりの1年間の火災発生件数。
火災予防活動の成果を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年1月当初から12月末まで）の市内における火災件数÷市内の人口×10,000人。
とかち広域消防局予防課の調査による。

3. 目標値設定の考え方

本市の基準値は一定程度高い水準にあることから、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3.4	3.4	3.1	2.5	3.0	3.0	3.0	3.2	1.9	2.0	
3.7	目標値	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
単位	達成率	108.8%	108.8%	119.4%	148.0%	123.3%	123.3%	123.3%	115.6%	194.7%	185.0%	
件	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（目標値/実績値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	6	指標名	防火活動の参加率
所管部課	総務部 消防推進室		
施策番号	1-1-2	施策名	消防・救急の充実
施策の目標	消防・救急体制の充実とともに、行政と市民、事業者、関係機関が連携して、防火活動や救急活動を行い、火災や事故などから市民の生命や財産を守ります。		

1. 指標の説明

1年間に避難訓練や消火訓練等の防火活動に参加した市民の割合。
防火に関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年1月当初から12月末）の消防訓練の参加人数÷市内の人口（毎年12月末現在）。
とかち広域消防局帯広消防署指導課の調査による。

3. 目標値設定の考え方

市民の40.0%が防火活動に参加することをめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	35.4	38.2	49.7	54.7	56.6	59.0	59.1	59.3	61.6	62.5	
39.1	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
単位	達成率	88.5%	95.5%	124.3%	136.8%	141.5%	147.5%	147.8%	148.3%	154.0%	156.3%	
%	判定	d	b	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	7	指標名	救命率
所管部課	総務部 消防推進室		
施策番号	1-1-2	施策名	消防・救急の充実
施策の目標	消防・救急体制の充実とともに、行政と市民、事業者、関係機関が連携して、防火活動や救急活動を行い、火災や事故などから市民の生命や財産を守ります。		

1. 指標の説明

心肺停止になった人が、救命処置を施され病院へ搬送後1ヵ月以上生存した割合。救急体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年1月当初から12月末まで）の数値。
ウツタイン様式統計調査のガイドラインにより実施したとかち広域消防局の調査による。

3. 目標値設定の考え方

今後、高齢化の進行により数値の低下が見込まれますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3.7	5.0	11.2	16.8	14.1	6.2	11.6	14.9	7.5	16.8	
5.1	目標値	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
単位	達成率	72.5%	98.0%	219.6%	329.4%	276.5%	121.6%	227.5%	292.2%	147.1%	329.4%	
%	判 定	d	b	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	8	指標名	応急手当普及講習の累計受講者数
所管部課	総務部 消防推進室		
施策番号	1-1-2	施策名	消防・救急の充実
施策の目標	消防・救急体制の充実とともに、行政と市民、事業者、関係機関が連携して、防火活動や救急活動を行い、火災や事故などから市民の生命や財産を守ります。		

1. 指標の説明

応急手当普及講習受講者のH22からの累計受講者数。
救命率向上の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年1月当初から12月末まで）の数値。
とかち広域消防局帯広消防署救急課の調査による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度4,200人程度の受講者を確保し、累計受講者数42,000人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	6,864	14,358	21,480	29,264	37,774	47,739	56,696	65,352	73,085	
—	目標値	—	4,200	8,400	12,600	16,800	21,000	25,200	29,400	33,600	37,800	42,000
単位	達成率	—	163.4%	170.9%	170.5%	174.2%	179.9%	189.4%	192.8%	194.5%	193.3%	
人	判定	—	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値÷各年度目標値）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	9	指標名	犯罪の発生件数
所管部課	市民活動部 安心安全推進課		
施策番号	1-2-1	施策名	防犯の推進
施策の目標	防犯意識の啓発や安全な生活環境の整備などにより、犯罪のない地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市内の1年間の犯罪（刑法犯）発生件数。
防犯の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市内の1年間（毎年1月当初から12月末）の犯罪（刑法犯）発生件数。
帯広警察署集計公表数値による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね20%減の1,540件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	1,565	1,438	1,548	1,445	1,304	1,325	1,113	853	874	798	
1,922	目標値	1,860	1,828	1,796	1,764	1,732	1,700	1,668	1,636	1,604	1,572	1,540
単位	達成率	575.8%	514.9%	296.8%	301.9%	325.3%	268.9%	318.5%	373.8%	329.6%	321.1%	
件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	10	指標名	防犯灯の新設灯数
所管部課	市民活動部 市民活動推進課		
施策番号	1-2-1	施策名	防犯の推進
施策の目標	防犯意識の啓発や安全な生活環境の整備などにより、犯罪のない地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

新設した防犯灯のH22からの累計灯数。
防犯の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末時点の数値。
市民活動推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

宅地造成や既存住宅地の要望を踏まえ計画的に整備をすすめ、675灯をめざします。
H22～24： 105灯×3年＝315灯（清流の里新規市街地枠として+25灯している）
H25～26： 80灯×2年＝160灯
H27～31： 40灯×5年＝200灯 計675灯

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	100	250	410	747	1,032	1,112	1,190	1,270	1,350	
—	目標値	—	105	210	315	395	475	515	555	595	635	675
単位	達成率	—	95.2%	119.0%	130.2%	189.1%	217.3%	215.9%	214.4%	213.4%	212.6%	
灯	判 定	—	b	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値÷各年度目標値）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	11	指標名	交通事故の発生件数
所管部課	市民活動部 安心安全推進課		
施策番号	1-2-2	施策名	交通安全の推進
施策の目標	交通安全意識の啓発や交通環境の整備により、交通事故のない安全な地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市内における1年間の交通事故発生件数。
交通安全の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市内における1年間（毎年1月当初から12月末）の交通事故発生件数。
十勝総合振興局の集計による。（帯広警察署集計の場合、交通機動隊の処理件数が含まれないため）

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%減の750件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	670	644	556	514	463	345	371	398	347	347	
834	目標値	820	813	806	799	792	785	778	771	764	757	750
単位	達成率	1171.4%	904.8%	992.9%	914.3%	883.3%	998.0%	826.8%	692.1%	695.7%	632.5%	
件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	12	指標名	交通安全教室の参加率
所管部課	市民活動部 安心安全推進課		
施策番号	1-2-2	施策名	交通安全の推進
施策の目標	交通安全意識の啓発や交通環境の整備により、交通事故のない安全な地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市が実施する交通安全教室に参加した市民の割合。
交通安全に関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の交通安全教室の参加者数÷市内の人口（毎年3月末現在）。
安心安全推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

市民の20.0%が交通安全教室に参加することをめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	20.6	20.9	21.4	20.0	22.9	20.9	21.4	22.8	22.8	22.7	
18.4	目標値	18.5	18.6	18.8	18.9	19.1	19.2	19.4	19.5	19.7	19.8	20.0
単位	達成率	2200.0%	1250.0%	750.0%	320.0%	642.9%	312.5%	300.0%	400.0%	338.5%	307.1%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	13	指標名	消費者講座等の参加人数
所管部課	市民活動部 安心安全推進課		
施策番号	1-2-3	施策名	消費生活の向上
施策の目標	消費者への情報提供や相談機能の充実などにより、消費生活の安定・向上をはかります。		

1. 指標の説明

市が実施する消費者講座等の1年間の参加人数。
市民の消費生活に対する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市が実施する消費者講座等の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加人数。
安心安全推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の3,700人をめざします。
（各年度の参加者数を3年ごとに100名ずつ増加させていく）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3,233	2,500	3,589	4,617	4,400	4,318	4,756	4,610	4,683	4,324	
3,300	目標値	3,350	3,400	3,500	3,500	3,500	3,600	3,600	3,600	3,700	3,700	3,700
単位	達成率	-134.0%	-800.0%	144.5%	658.5%	550.0%	339.3%	485.3%	436.7%	345.8%	256.0%	
人	判 定	d	d	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	14	指標名	消費生活相談の解決率
所管部課	市民活動部 安心安全推進課		
施策番号	1-2-3	施策名	消費生活の向上
施策の目標	消費者への情報提供や相談機能の充実などにより、消費生活の安定・向上をはかります。		

1. 指標の説明

帯広市消費生活アドバイスセンターにおける消費生活相談の解決率。
消費生活相談機能の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（4月当初から3月末まで）の消費生活相談の解決率。
安心安全推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去3年間の最高値を上回る99.6%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	98.2	98.3	97.5	98.5	97.1	98.4	98.7	97.7	98.7	99.2	
99.4	目標値	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.6	99.6	99.6	99.6	99.6
単位	達成率	98.8%	98.8%	98.0%	99.0%	97.6%	98.9%	99.1%	98.1%	99.1%	99.6%	
%	判 定	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/各年度目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。
この指標は、一定程度高水準にある現状値を、微増ながら、さらに上昇を目指す目標設定をしていることから、B類型の判定基準を適用する。

指 標 管 理 表

指標番号	15	指標名	不合格計量器の出現率
所管部課	市民活動部 安心安全推進課		
施策番号	1-2-3	施策名	消費生活の向上
施策の目標	消費者への情報提供や相談機能の充実などにより、消費生活の安定・向上をはかります。		

1. 指標の説明

定期検査対象計量器のうち不合格計量器数が占める割合。
適正な取引を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の定期検査対象計量器のうち、不合格計量器数が占める割合。
安心安全推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の0.6%減の1.4%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	1.4	0.7	1.1	0.0	0.3	0.2	0.5	0.3	0.2	0.5	
2.0	目標値	1.9	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4
単位	達成率	600.0%	650.0%	300.0%	666.7%	425.0%	450.0%	375.0%	340.0%	360.0%	250.0%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	16	指標名	がん検診の平均受診率
所管部課	保健福祉部 健康推進課		
施策番号	2-1-1	施策名	保健予防の推進
施策の目標	健康づくりに関する意識啓発をはかるとともに、市民の主体的な健康づくりを促進します。		

1. 指標の説明

5つのがん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん）の平均受診率。
保健予防の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

分母（対象者数）：当該年度のA（国民健康保険加入者＋社会保険加入者の被扶養者
＋生活保護者）－A×国保受療率
分子（受診者数）：当該年度の4月1日～3月31日の受診者数
健康推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

第二期けんこう帯広21に基づき、30.2%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H23	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	27.3	25.8	25.1	25.2	26.3	27.3	26.2	27.7	29.8	29.0	
25.1	目標値	21.8	22.5	24.2	24.8	25.4	26.0	27.6	28.5	29.3	29.8	30.2
単位	達成率	389.5%	226.9%	120.9%	108.2%	116.4%	121.3%	44.0%	76.5%	111.9%	83.0%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	c	b	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

※本指標は、中間年に点検し、評価対象年度H27～31の目標値、基準
年、基準値を見直している。

※見直し前の目標値は、H27（26.6）、H28（27.2）、H29
（27.8）、H30（28.4）、H31（29.0）。

※評価対象年度H21～26の基準値は、19.9（基準年H19）。

指 標 管 理 表

指標番号	17	指標名	麻しんの予防接種率
所管部課	保健福祉部 健康推進課		
施策番号	2-1-1	施策名	保健予防の推進
施策の目標	健康づくりに関する意識啓発をはかるとともに、市民の主体的な健康づくりを促進します。		

1. 指標の説明

麻しん予防接種の接種率。
感染症予防対策の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

第1期（1歳）と第2期（6歳）の平均接種率
分母（対象者数）：第1期は当該年度の9月30日現在人口
第2期は年度当初の案内配布対象者人数
分子（接種者数）：当該年度中に接種した人数
健康推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

国の「麻しん排除計画」の目標接種率95.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	90.8	92.0	93.5	94.3	98.1	93.4	95.8	94.0	92.7	95.4	
89.2	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
単位	達成率	95.6%	96.8%	98.4%	99.3%	103.3%	98.3%	100.8%	98.9%	97.6%	100.4%	
%	判定	b	b	b	b	a	b	a	b	b	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	18	指標名	看護師養成学校卒業生の市内就職率
所管部課	保健福祉部 健康推進課		
施策番号	2-1-2	施策名	医療体制の充実
施策の目標	医療機関や関係機関との連携により、救急医療など地域医療体制を充実し、安心して医療を受けられる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

看護師等の市内養成学校の卒業生のうち、市内医療機関に就職した割合。

2. 実績値の算定方法、出典等

市内3養成学校（高看、協会病院看護学校、医師会看護学校）における数値。
健康推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね1.0%増の56.7%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	52.0	54.5	54.0	44.4	55.1	59.4	54.9	64.6	60.6	58.3	
56.0	目標値	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7
単位	達成率	91.7%	96.1%	95.2%	78.3%	97.2%	104.8%	96.8%	113.9%	106.9%	102.8%	
%	判 定	c	b	b	d	b	a	b	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	19	指標名	初期救急医療の対応可能日数
所管部課	保健福祉部 健康推進課		
施策番号	2-1-2	施策名	医療体制の充実
施策の目標	医療機関や関係機関との連携により、救急医療など地域医療体制を充実し、安心して医療を受けられる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

夜間に初期救急患者の診療を行う医療機関（夜間急病センター及び在宅当番医）の1年間における当番日数。
救急医療体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

夜間急病センター及び在宅当番医の1年間（毎年4月当初から3月末）における当番日数。
健康推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

年間を通して診療を行うことが必要であることから、基準値の維持（うるう年は366日）をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	
365	目標値	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
日	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

実績値が、
a：目標値の場合
b：—
c：—
d：目標値を下回る場合

5. 評価基準の考え方

年間を通して診療を行うことが必要であることから、目標値が達成されている場合をaとし、目標値を下回る場合はdとする。
b、cは設定しない。

指 標 管 理 表

指標番号	20	指標名	地域交流サロンの参加者数
所管部課	保健福祉部 社会課		
施策番号	2-2-1	施策名	地域福祉の推進
施策の目標	市民、福祉団体、ボランティア団体などと行政の協働により、ともに支え合う地域福祉の環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

地域交流の場である地域交流サロンに参加する高齢者や障害のある人、市民ボランティア等の1年間の参加者数。
地域福祉活動の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

地域交流の場である地域交流サロンに参加する高齢者や障害のある人、市民ボランティア等の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者数。
帯広市社会福祉協議会の報告による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね70%増の16,200人をめざします。
平成20年度に12か所で自主的に活動していることから、サロン数を平成31年度までに18か所まで増やし、現在の1回当たりの参加者を基準に目標値を設定。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	13,736	15,713	18,480	18,850	20,251	21,044	22,325	21,571	21,227	22,163	
9,318	目標値	10,400	11,000	11,600	12,200	12,700	13,300	13,900	14,500	15,000	15,600	16,200
単位	達成率	408.3%	380.2%	401.5%	330.7%	323.3%	294.5%	283.9%	236.5%	209.6%	204.5%	
人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	21	指標名	ボランティアセンター登録者数
所管部課	保健福祉部 社会課		
施策番号	2-2-1	施策名	地域福祉の推進
施策の目標	市民、福祉団体、ボランティア団体などと行政の協働により、ともに支え合う地域福祉の環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

ボランティアセンター（帯広市社会福祉協議会内）に登録するボランティア数。
地域福祉活動の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末現在の数値。
帯広市社会福祉協議会の報告による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね8%増の3,700人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	2,291	3,280	3,442	3,794	3,871	3,925	3,998	3,816	4,028	4,819	
3,435	目標値	3,450	3,460	3,486	3,512	3,538	3,564	3,590	3,616	3,642	3,668	3,700
単位	達成率	-7626.7%	-620.0%	13.7%	466.2%	423.3%	379.8%	363.2%	210.5%	286.5%	594.0%	
人	判定	d	d	d	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	22	指標名	介護予防事業の参加者のうち、評価が向上・維持できた人の割合
所管部課	保健福祉部 高齢者福祉課		
施策番号	2-2-2	施策名	高齢者福祉の推進
施策の目標	高齢者を地域で支える仕組みづくりとともに、福祉サービスを充実し、健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

要支援・要介護とならないための予防を目的とした特定高齢者介護予防事業「運動器の機能向上プログラム」の参加者のうち、運動機能や活動意欲等の評価において、「向上」や「維持」が認められた割合。
介護予防の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

特定高齢者介護予防事業「運動器の機能向上プログラム」の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者のうち、運動機能や活動意欲等の評価において、「向上」や「維持」が認められた割合。
高齢者福祉課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値を上回る95.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	87.4	85.9	89.5	89.0	87.3	90.1	89.5	—	—	—	
92.3	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
単位	達成率	92.0%	90.4%	94.2%	93.7%	91.9%	94.8%	94.2%	—	—	—	—
%	判 定	c	c	c	c	c	c	c	—	—	—	—

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

※制度変更に伴い平成28年度以降は「運動器の機能向上プログラム」を実施していないため実績値、達成率、判定とも「—」としている。

指 標 管 理 表

指標番号	23	指標名	要介護認定者に対する介護サービス利用者の割合
所管部課	保健福祉部 介護保険課		
施策番号	2-2-2	施策名	高齢者福祉の推進
施策の目標	高齢者を地域で支える仕組みづくりとともに、福祉サービスを充実し、健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

要支援・要介護認定者等のうち、介護サービス利用者の割合。
 介護サービスの充実を測る指標として設定します。
 ※制度改正により、平成29年度から要介護認定を受けていない人で、一定の要件を満たしている人も要支援・要介護認定者等に含めています。

2. 実績値の算定方法、出典等

年平均（3月利用分から翌年2月利用分まで）の数値。
 介護保険事業実績報告による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の1.00%増の77.24%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	77.13	77.58	78.04	78.32	78.19	78.43	78.71	78.84	78.68	78.96	
76.24	目標値	76.29	76.34	76.44	76.54	76.64	76.74	76.84	76.94	77.04	77.14	77.24
単位	達成率	1780.0%	1340.0%	900.0%	693.3%	487.5%	438.0%	411.7%	371.4%	305.0%	302.2%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
 a：100.00%以上
 b：66.66%以上100.0%未満
 c：33.33%以上66.66%未満
 d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	24	指標名	地域包括支援センター等の相談件数
所管部課	保健福祉部 高齢者福祉課		
施策番号	2-2-2	施策名	高齢者福祉の推進
施策の目標	高齢者を地域で支える仕組みづくりとともに、福祉サービスを充実し、健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

地域包括支援センター、在宅介護支援センターにおける1年間の相談件数。
高齢者福祉サービスに関する相談体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

地域包括支援センター、在宅介護支援センターにおける1年間（毎年4月当初から3月末まで）の相談件数。
高齢者福祉課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

老年人口（65歳以上人口）の概ね4分の1である13,000人をめざします。
H21年度から地域包括支援センターの更なる周知を図り、H23年度までに、高齢者人口に対する相談件数の割合を、現状の23.6%から高齢者人口の4人に1人（25%）に高める。それ以後（H24年度以降）は高齢者人口の25%を目標とする。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	8,591	8,544	9,523	11,356	13,029	13,403	13,528	13,779	15,442	16,479	
8,418	目標値	9,145	9,434	9,991	10,354	10,718	11,082	11,445	11,809	12,173	12,536	13,000
単位	達成率	23.8%	12.4%	70.2%	151.8%	200.5%	187.1%	168.8%	158.1%	187.1%	195.8%	
件	判定	d	d	b	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	25	指標名	認知症サポーター数
所管部課	保健福祉部 高齢者福祉課		
施策番号	2-2-2	施策名	高齢者福祉の推進
施策の目標	高齢者を地域で支える仕組みづくりとともに、福祉サービスを充実し、健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する正しい知識と理解を身につけた人の証であるオレンジリングを交付された人のH22からの累計人数。
高齢者を地域で支える仕組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する正しい知識と理解を身につけた人の証であるオレンジリングを交付された人のH22からの累計人数。（毎年3月末時点）
高齢者福祉課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

受講者数枠を200人程度ずつ拡大し、受講目標数を2,000人／年として、累計18,670人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	1,597	2,614	3,854	5,914	7,190	8,937	10,993	13,107	15,108	16,471	
873	目標値	1,673	2,670	3,870	5,270	6,870	8,670	10,670	12,670	14,670	16,670	18,670
単位	達成率	90.5%	96.9%	99.5%	114.6%	105.3%	103.4%	103.3%	103.7%	103.2%	98.7%	
人	判 定	b	b	b	a	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	26	指標名	在宅サービスの利用率
所管部課	保健福祉部 障害福祉課		
施策番号	2-2-3	施策名	障害者福祉の推進
施策の目標	障害のある人が、地域において自立に向けた支援やサービスを受け、生き生きと暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

障害者自立支援法に基づく在宅系の障害福祉給付サービスを利用する障害者が、3障害障害者手帳所持者総数に占める割合。
障害者の在宅サービスの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

在宅系の障害福祉給付サービス（訪問系、日中活動系、短期入所）を利用する障害者が、3障害障害者手帳所持者総数に占める割合。（3月末現在 OR 年度平均の数値）
※介護保険制度が適用される65歳以上の障害者を除く。※精神は、精神障害者数
サービス利用者：障害者自立支援給付状況報告書様式3-2、障害者手帳所持者：身体・療育＝保健福祉総合システムデータ、精神：十勝保健福祉事務所出典データ

3. 目標値設定の考え方

毎年度1.6%程度増加させ、30.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	17.4	19.4	25.7	30.5	32.9	31.1	32.0	32.9	34.4	35.0	
10.5	目標値	13.8	15.4	17.0	18.6	20.3	21.9	23.5	25.1	26.8	28.4	30.0
単位	達成率	209.1%	181.6%	233.8%	246.9%	228.6%	180.7%	165.4%	153.4%	146.6%	136.9%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	27	指標名	総合相談窓口の相談件数
所管部課	保健福祉部 障害福祉課		
施策番号	2-2-3	施策名	障害者福祉の推進
施策の目標	障害のある人が、地域において自立に向けた支援やサービスを受け、生き生きと暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

障害福祉窓口における1年間の相談件数。
障害者の日常生活支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

障害福祉窓口における1年間（毎年4月当初から3月末まで）の相談件数。
障害福祉課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね30%増の17,500件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	10,081	13,439	12,763	11,634	13,197	13,845	13,602	15,327	16,220	15,942	
13,164	目標値	13,801	14,131	14,469	14,815	15,169	15,532	15,903	16,283	16,672	17,070	17,500
単位	達成率	-484.0%	28.4%	-30.7%	-92.7%	1.6%	28.8%	16.0%	69.3%	87.1%	71.1%	
件	判 定	d	d	d	d	d	d	d	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	28	指標名	障害者社会参加促進事業の参加者数
所管部課	保健福祉部 障害福祉課		
施策番号	2-2-3	施策名	障害者福祉の推進
施策の目標	障害のある人が、地域において自立に向けた支援やサービスを受け、生き生きと暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

障害のある人の自立を促進する社会参加促進事業の1年間の参加者数。
障害者の社会参加を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

障害者の自立を促進する社会参加促進事業（ハンディキャップスキー・心身障害児水泳教室など）の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者数。
障害福祉課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

第四期帯広市障害福祉計画に基づき、485人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H24	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	442	457	461	466	424	434	558	704	742	490	
466	目標値	403	404	405	406	407	408	477	481	485	485	485
単位	達成率	880.0%	983.3%	900.0%	850.0%	288.9%	360.0%	836.4%	1586.7%	1452.6%	126.3%	
人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

※本指標は、中間年に点検し、評価対象年度H27～31の目標値、基準年、基準値を見直している。

※見直し前の目標値は、H27（409）、H28（410）、H29（411）、H30（412）、H31（413）。

※評価対象年度H21～26の基準値は、398（基準年H19）。

指 標 管 理 表

指標番号	29	指標名	グループホームの定員数
所管部課	保健福祉部 障害福祉課		
施策番号	2-2-3	施策名	障害者福祉の推進
施策の目標	障害のある人が、地域において自立に向けた支援やサービスを受け、生き生きと暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市内に設置されている「グループホーム」の定員数。
障害のある人の地域生活への支援を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末の数値。
北海道十勝保健福祉事務所「障害者自立支援指定事業所」による。

3. 目標値設定の考え方

第四期帯広市障害福祉計画に基づき、352人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H24	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	242	255	259	297	345	388	398	419	446	477	
297	目標値	220	225	230	237	243	248	299	325	352	352	352
単位	達成率	344.4%	314.3%	252.6%	330.8%	418.8%	478.4%	5050.0%	435.7%	270.9%	327.3%	
人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

※本指標は、中間年に点検し、指標名、評価対象年度H27～31の目標値、基準年、基準値を見直している。

※～H25の指標名は、「グループホーム・ケアホームの定員数」。H26.4より、ケアホームが、グループホームに一元化されたことから、指標名を「グループホームの定員数」に変更。

※見直し前の目標値は、H27（254）、H28（260）、H29（266）、H30（272）、H31（277）。

※評価対象年度H21～26の基準値は、211（基準年H19）。

指 標 管 理 表

指標番号	30	指標名	障害者雇用率を達成した企業の割合
所管部課	保健福祉部 障害福祉課		
施策番号	2-2-3	施策名	障害者福祉の推進
施策の目標	障害のある人が、地域において自立に向けた支援やサービスを受け、生き生きと暮らせる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

厚生労働省が定める障害者雇用率を満たす一般企業が、一般企業総数に占める割合。障害者の地域生活への支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

厚生労働省が定める障害者雇用率を満たす一般企業が、一般企業総数に占める割合。
※毎年6月1日現在の数値。
出典：帯広公共職業安定所（ハローワーク帯広）「障害者の雇用状況について」

3. 目標値設定の考え方

一般企業総数の50.0%をめざします。（毎年度0.5%ずつ増加させ、50%をめざします。）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	47.6	52.0	45.8	45.7	38.2	43.1	48.7	51.0	56.8	46.8	
43.8	目標値	44.8	45.4	45.9	46.4	46.9	47.4	47.9	48.5	49.0	49.5	50.0
単位	達成率	380.0%	512.5%	95.2%	73.1%	-180.6%	-19.4%	119.5%	153.2%	250.0%	52.6%	
%	判 定	a	a	b	b	d	d	a	a	a	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	31	指標名	医療費の地域差指数（全国平均＝1.000）
所管部課	市民環境部 国保課		
施策番号	2-2-4	施策名	社会保障の推進
施策の目標	市民が安心して生活できるよう、国民健康保険や介護保険制度などの安定的な運営に努めます。		

1. 指標の説明

国民健康保険の被保険者の医療費の全国平均を1.000とし、各市町村の国民健康保険の医療費を指数で示したもの。
国民健康保険の健全な運営を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年12月末に当該年度から2ヶ年前の数値が公表される。
地域差指数が、1.14を超えると安定化計画策定の市町村に、1.10を超えると道の準指定市町村に指定される。）
厚生労働省からの通知による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市の地域差指数は、道内においては低い数値となっていますが、1.000の全国平均に近くよう1.050をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H18	評価対象年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
基準値	実績値	1.019	1.045	1.040	1.060	1.029	1.027	1.032	1.015	1.029	1.013	
1.066	目標値	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050	1.050
単位	達成率	103.0%	100.5%	101.0%	99.1%	102.0%	102.2%	101.7%	103.4%	102.0%	103.7%	
—	判 定	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（目標値/実績値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	32	指標名	第1号被保険者に占める要介護1以上の認定者の割合
所管部課	保健福祉部 介護保険課		
施策番号	2-2-4	施策名	社会保障の推進
施策の目標	市民が安心して生活できるよう、国民健康保険や介護保険制度などの安定的な運営に努めます。		

1. 指標の説明

介護認定における要介護1以上の人が、第1号被保険者数（市内65歳以上の人数）に占める割合。
介護保険制度の適切な運営を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

年平均（4月報告分から翌年3月報告分まで）の数値。
介護保険事業状況報告による。

3. 目標値設定の考え方

高齢化の進行により数値の増加が見込まれますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	12.81	12.88	13.05	13.27	13.44	13.42	13.36	13.50	13.79	13.93	
12.75	目標値	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75	12.75
単位	達成率	99.5%	99.0%	97.7%	96.1%	94.9%	95.0%	95.4%	94.4%	92.5%	91.5%	
%	判 定	b	b	b	b	c	b	b	c	c	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（目標値/実績値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	33	指標名	稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合
所管部課	保健福祉部 保護課		
施策番号	2-2-4	施策名	社会保障の推進
施策の目標	市民が安心して生活できるよう、国民健康保険や介護保険制度などの安定的な運営に努めます。		

1. 指標の説明

18～64歳の被保護者のうち、病気や子育て等の阻害要因を除いた者（稼働可能な被保護者）のうち、就労者が占める割合。
生活保護制度の適正な運用を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

保護課の調査による。
18～64歳の被保護者のうち、病気や子育て等の阻害要因を除いた者（稼働可能な被保護者）のうち、就労者が占める割合。
毎年3月末現在の数値。

3. 目標値設定の考え方

北海道の就業率67.9%（H19年度平均）をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	44.9	39.7	43.6	45.5	46.4	47.7	47.8	48.0	48.8	48.9	
47.1	目標値	48.0	49.2	51.3	53.3	55.4	57.5	59.6	61.7	63.7	65.8	67.9
単位	達成率	-244.4%	-352.4%	-83.3%	-25.8%	-8.4%	5.8%	5.6%	6.2%	10.2%	9.6%	
%	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.660%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	34	指標名	年金相談の満足度（満点＝5.00）
所管部課	市民環境部 戸籍住民課		
施策番号	2-2-4	施策名	社会保障の推進
施策の目標	市民が安心して生活できるよう、国民健康保険や介護保険制度などの安定的な運営に努めます。		

1. 指標の説明

国民年金相談に係る市民アンケート（5点満点（5.分かりやすい 4.やや分かりやすい 3.普通 2.やや分かりづらい 1.分かりづらい））の平均点。
国民年金の制度の周知を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

戸籍住民課国民年金係が実施する市民アンケートの平均値。

3. 目標値設定の考え方

基準値より0.10増の4.70をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	4.65	4.79	4.69	4.91	4.85	4.68	4.79	4.77	4.79	4.83	
4.60	目標値	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70
単位	達成率	98.9%	101.9%	99.8%	104.5%	103.2%	99.6%	101.9%	101.5%	101.9%	102.8%	
—	判 定	b	a	b	a	a	b	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	35	指標名	3歳児のむし歯保有率
所管部課	こども未来部 子育て支援課		
施策番号	2-3-1	施策名	子育て支援の充実
施策の目標	多様なニーズに応じた子育て支援を充実するとともに、地域で子育てを支える環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

3歳児健康診査時に行う歯科健診において、むし歯を保有している子どもの割合。おやこの健康支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

3歳児健康診査時に行う歯科健診において、むし歯を保有している子どもの人数÷3歳児検診受診者数（毎年3月末現在）。
子育て支援課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度0.6%程度低下させ、20.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	25.7	24.9	23.6	19.3	18.5	17.5	15.4	13.4	12.4	11.4	
27.6	目標値	26.3	25.7	25.0	24.4	23.8	23.1	22.5	21.9	21.3	20.7	20.0
単位	達成率	146.2%	142.1%	153.8%	259.4%	239.5%	224.4%	239.2%	249.1%	241.3%	234.8%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	36	指標名	保育所・幼稚園・認定こども園等の利用率
所管部課	こども未来部 こども課		
施策番号	2-3-1	施策名	子育て支援の充実
施策の目標	多様なニーズに応じた子育て支援を充実するとともに、地域で子育てを支える環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

0～5歳の子どものうち、認可保育所、へき地保育所、幼稚園、認定こども園及び地域型保育事業を利用している者（認可外保育所を含まない）の割合。
保育サービスや幼稚園教育の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

（毎年4月1日の認可保育所入所者数＋へき地保育所入所者数＋幼稚園入園者数）÷0歳～5歳児の人口（毎年3月末時点）
【入所者数は4月1日、人口は3月31日】。
こども課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の2.3%増の57.5%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	54.5	55.1	55.8	56.7	56.3	58.3	59.1	60.6	60.8	62.8	
55.2	目標値	55.3	55.3	55.3	56.2	56.7	56.9	57.0	57.3	57.4	57.5	57.5
単位	達成率	-700.0%	-100.0%	600.0%	150.0%	73.3%	182.4%	216.7%	257.1%	254.5%	330.4%	
%	判 定	d	d	a	a	b	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

※本指標は、中間年に点検し、指標名を見直している。

※～H25の指標名は、「保育所・幼稚園の利用率」。H27.4より、子ども・子育て支援新制度が開始されたことに伴い、認定こども園等の普及が想定されることから、指標名を「保育所・幼稚園・認定こども園等の利用率」に変更。

指 標 管 理 表

指標番号	37	指標名	乳児家庭への訪問率
所管部課	こども未来部 子育て支援課		
施策番号	2-3-1	施策名	子育て支援の充実
施策の目標	多様なニーズに応じた子育て支援を充実するとともに、地域で子育てを支える環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

出生数に対して家庭訪問件数の占める割合。
子育て支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

訪問乳児数（保育士・母子訪問指導員・保健師が訪問した数（毎年4月当初から3月末まで））÷出生数（毎年3月末時点）。
子育て支援課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

H22より毎年度1.5%程度増加させ、85.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	74.6	83.9	81.7	80.5	95.0	91.9	95.7	93.7	93.4	100.6	
37.6	目標値	70.0	71.5	73.0	74.5	76.0	77.5	79.0	80.5	82.0	83.5	85.0
単位	達成率	114.2%	136.6%	124.6%	116.3%	149.5%	136.1%	140.3%	130.8%	125.7%	137.3%	
%	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	38	指標名	子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数
所管部課	こども未来部 子育て支援課		
施策番号	2-3-1	施策名	子育て支援の充実
施策の目標	多様なニーズに応じた子育て支援を充実するとともに、地域で子育てを支える環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

子ども（幼稚園と保育所の入園・入所者を除く0～5歳の子ども）1人当たりの子育て支援センター等（保育所開放、子育てサロンを含む）の1年間の利用回数。
子育て支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

（子育て支援センター育児相談数＋子育て支援センター事業実績数（ボランティアを抜く）＋保育所開放事業利用数＋子育てサロン利用数（もっくん・ふれんずぴあ・プレールーム））／0～5歳の子ども的人口数－（保育所入所数＋幼稚園入園数）
子育て支援課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

月1回の利用である12.0回をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	9.6	10.7	12.6	12.3	14.4	17.0	15.9	16.5	16.6	18.3	
10.2	目標値	10.6	10.7	10.8	11.0	11.1	11.3	11.4	11.6	11.7	11.9	12.0
単位	達成率	-150.0%	100.0%	400.0%	262.5%	466.7%	618.2%	475.0%	450.0%	426.7%	476.5%	
回	判定	d	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	39	指標名	子育てメール通信の利用率
所管部課	こども未来部 子育て支援課		
施策番号	2-3-1	施策名	子育て支援の充実
施策の目標	多様なニーズに応じた子育て支援を充実するとともに、地域で子育てを支える環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

子育てメール通信を利用している世帯数が、0～2歳の子どもの数に占める割合。子育て支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

子育て支援課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度3%程度増加させ、60.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	22.6	24.7	29.5	32.3	38.3	40.9	41.4	42.0	42.4	35.0	
23.8	目標値	25.0	30.3	33.6	36.9	40.2	43.5	46.8	50.1	53.4	56.7	60.0
単位	達成率	-100.0%	13.8%	58.2%	64.9%	88.4%	86.8%	76.5%	69.2%	62.8%	34.0%	
%	判定	d	d	c	c	b	b	b	b	c	c	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	40	指標名	母子家庭等自立支援制度利用者の就労率
所管部課	こども未来部 こども課		
施策番号	2-3-1	施策名	子育て支援の充実
施策の目標	多様なニーズに応じた子育て支援を充実するとともに、地域で子育てを支える環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

母子家庭における母親の職業訓練に対する支援制度の利用者のうち、就労した割合。母子家庭の自立支援の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

制度利用終了者数の内、1度就労したことがある人数（H22からの累計人数）÷（制度利用終了者数（H22からの累計人数）－就労を希望しない人数）
こども課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度0.5%程度上昇させ、72.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H18-20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	69.0	69.4	70.3	72.1	72.5	73.6	74.3	75.0	77.4	78.3	
67.3	目標値	67.4	67.5	68.0	68.5	69.0	69.5	70.0	70.5	71.0	71.5	72.0
単位	達成率	1700.0%	1050.0%	428.6%	400.0%	305.9%	286.4%	259.3%	240.6%	273.0%	261.9%	
%	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	41	指標名	子どもの居場所づくり参加児童数
所管部課	こども未来部 青少年課		
施策番号	2-3-2	施策名	青少年の健全育成
施策の目標	家庭、地域、学校などとの連携により、青少年を健全に育む環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

子どもたちが学年の異なる友達や地域の大人たちと交流できる機会である「子どもの居場所」の1年間の参加児童数。
青少年を育む環境の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

子どもたちが学年の異なる友達や地域の大人たちと交流できる機会である「子どもの居場所」の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加児童数。
青少年課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

新規実施校の拡充と既存校の充実により、31,100人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	12,116	17,477	17,629	20,927	23,933	22,405	22,834	25,199	22,413	22,017	
7,575	目標値	13,400	16,300	18,400	21,700	25,000	28,200	28,800	29,300	29,900	30,500	31,100
単位	達成率	78.0%	113.5%	92.9%	94.5%	93.9%	71.9%	71.9%	81.1%	66.5%	63.0%	
人	判 定	b	a	b	b	b	b	b	b	c	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	42	指標名	巡回指導による不良行為等の被指導者数
所管部課	こども未来部 青少年課		
施策番号	2-3-2	施策名	青少年の健全育成
施策の目標	家庭、地域、学校などとの連携により、青少年を健全に育む環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

青少年センター街頭巡回の実施による1年間の不良行為少年（飲酒・喫煙・薬物乱用等）に対する合計指導者数。

2. 実績値の算定方法、出典等

青少年センター街頭巡回の実施により、飲酒、喫煙、家出、怠学、不良交流、不健全娯楽、深夜はいかいなど（校則違反、交通マナー、迷惑行為は除く）で指導した年間合計数（毎年4月当初から3月末）。
青少年センター街頭巡回指導の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね20%減の29人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	0	4	9	5	6	20	5	7	2	6	
37	目標値	36	36	36	35	35	34	33	32	31	30	29
単位	達成率	3700.0%	3300.0%	2800.0%	1600.0%	1550.0%	566.7%	800.0%	600.0%	583.3%	442.9%	
人	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	43	指標名	青少年リーダー養成事業参加者数
所管部課	こども未来部 青少年課		
施策番号	2-3-2	施策名	青少年の健全育成
施策の目標	家庭、地域、学校などとの連携により、青少年を健全に育む環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

青少年リーダー養成事業の1年間の参加人数。
青少年健全育成の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

青少年リーダー養成事業（地域子ども会リーダー宿泊研修会、ジュニアリーダーコース、北海道地域子ども会リーダー研修会、あすかの会（会員）、ジュニアリーダーあるふあの会（会員））の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加人数。
青少年課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね25%増の260人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	187	288	291	300	283	365	338	313	266	248	
208	目標値	210	215	220	225	230	235	240	245	250	255	260
単位	達成率	-1050.0%	1142.9%	691.7%	541.2%	340.9%	581.5%	406.3%	283.8%	138.1%	85.1%	
人	判定	d	a	a	a	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	44	指標名	児童会館の入館者数
所管部課	こども未来部 児童会館		
施策番号	2-3-2	施策名	青少年の健全育成
施策の目標	家庭、地域、学校などとの連携により、青少年を健全に育む環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

児童会館の1年間の入館者数。
体験活動施設の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

児童会館の1年間（毎年4月当初から3月末）の入館者数。
児童会館の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の12.0万人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	11.2	11.9	12.3	10.9	10.4	14.5	14.4	13.8	14.6	15.0	
10.9	目標値	11.2	11.3	11.3	11.4	11.5	11.6	11.7	11.7	11.8	11.9	12.0
単位	達成率	100.0%	250.0%	350.0%	0.0%	-83.3%	514.3%	437.5%	362.5%	411.1%	410.0%	
万人	判 定	a	a	a	d	d	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	45	指標名	市内食料自給率
所管部課	農政部 農政課		
施策番号	3-1-1	施策名	農林業の振興
施策の目標	安全で良質な農畜産物の生産や付加価値の向上をはかるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能の活用を促進するなど、環境と調和する農林業を振興します。		

1. 指標の説明

帯広市で消費される食料（カロリーベース）のうち、帯広市で生産される食料の割合。農林業の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年1月当初から12月末までの1年間の数値。
農林水産省における食料自給率推計方法に基づき、農政課が算出。

3. 目標値設定の考え方

毎年度5%程度増加させ、335%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	262	225	266	271	275	277	320	242	315	276	
285	目標値	287	290	295	300	305	310	315	320	325	330	335
単位	達成率	-1150.0%	-1200.0%	-190.0%	-93.3%	-50.0%	-32.0%	116.7%	-122.9%	75.0%	-20.0%	
%	判 定	d	d	d	d	d	d	a	d	b	d	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	46	指標名	農業産出額
所管部課	農政部 農政課		
施策番号	3-1-1	施策名	農林業の振興
施策の目標	安全で良質な農畜産物の生産や付加価値の向上をはかるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能の活用を促進するなど、環境と調和する農林業を振興します。		

1. 指標の説明

市内の農産物の品目別生産数量に品目別農家庭先価格（農業者段階の農産物価格）を乗じて得た額の合計額。
農林業の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年1月当初から12月末までの1年間の数値。
品目ごとの生産量、単価等は、農協などにおける調査を活用し、経営所得安定対策等における交付金については、北海道農政事務所から聞き取り、農政課で算出する。

3. 目標値設定の考え方

毎年度1億円程度増加させ、280.0億円をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	278.0	268.1	278.5	287.0	284.8	295.8	329.7	290.1	322.0	311.4	
269.9	目標値	270.0	271.0	272.0	273.0	274.0	275.0	276.0	277.0	278.0	279.0	280.0
単位	達成率	8100.0%	-163.6%	409.5%	551.6%	363.4%	507.8%	980.3%	284.5%	643.2%	456.0%	
億円	判 定	a	d	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	47	指標名	環境に配慮した農業を実践する農家数
所管部課	農政部 農政課		
施策番号	3-1-1	施策名	農林業の振興
施策の目標	安全で良質な農畜産物の生産や付加価値の向上をはかるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能の活用を促進するなど、環境と調和する農林業を振興します。		

1. 指標の説明

有機JAS、YES!clean登録、エコファーマー認定や特別栽培等、環境に優しい営農活動に取り組む農家数。
環境と調和した農業生産の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度3 月末時点の数値。
環境に配慮した営農活動に取り組む農家戸数（有機JAS、YES!clean登録、エコファーマー認定や特別栽培等）のうち、重複する農家戸数を除く。
農政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度5戸程度増加させ、200戸をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	160	177	182	179	174	178	172	173	179	167	
147	目標値	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200
単位	達成率	433.3%	375.0%	269.2%	177.8%	117.4%	110.7%	75.8%	68.4%	74.4%	41.7%	
戸	判 定	a	a	a	a	a	a	b	b	b	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	48	指標名	農業体験・学習に参加した市民の数
所管部課	農政部 農政課		
施策番号	3-1-1	施策名	農林業の振興
施策の目標	安全で良質な農畜産物の生産や付加価値の向上をはかるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能の活用を促進するなど、環境と調和する農林業を振興します。		

1. 指標の説明

市が実施する農業体験や体験学習における1年間の参加者数。
食育の推進や農業理解の促進の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

農業技術センター展示ほ場での農業体験、自給自足体験学習、学童農園、出前講座などの1年間（毎年4月当初から3月末）の参加人数。
農政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね20%増の3,500人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3,407	3,788	3,296	3,367	3,630	3,481	3,447	3,357	3,541	3,362	
2,893	目標値	3,000	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	3,500
単位	達成率	480.4%	570.1%	194.7%	184.4%	240.1%	164.7%	136.1%	101.5%	127.8%	84.2%	
人	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	49	指標名	耕地防風林苗木植栽数
所管部課	農政部 農村振興課		
施策番号	3-1-1	施策名	農林業の振興
施策の目標	安全で良質な農畜産物の生産や付加価値の向上をはかるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能の活用を促進するなど、環境と調和する農林業を振興します。		

1. 指標の説明

耕地防風林苗木の1年間の植栽数。
耕地防風林は、農地を風害から守り農産物の生産量や品質の向上に役立つことから、農業生産の推進の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市耕地防風林整備促進事業実績報告の苗木本数を農村振興課で集計。

3. 目標値設定の考え方

耕地防風林を植栽する農家を毎年度1戸相当（植栽本数150本程度）増加させ、7,000本をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	5,785	6,021	3,125	5,460	3,500	3,410	930	3,740	3,261	2,640	
5,660	目標値	5,710	5,810	5,960	6,110	6,260	6,410	6,560	6,660	6,760	6,860	7,000
単位	達成率	250.0%	240.7%	-845.0%	-44.4%	-360.0%	-300.0%	-525.6%	-192.0%	-218.1%	-251.7%	
本	判 定	a	a	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	50	指標名	製造品出荷額等
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-2	施策名	工業の振興
施策の目標	地域資源や地域特性を活かし、新技術・新製品の開発や企業立地を促進するなど、工業を振興します。		

1. 指標の説明

1年間の製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額及びその他の収入額の合計額。工業の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

工業統計調査による製造品出荷額等（2ヵ年遅れの数値）

3. 目標値設定の考え方

十勝地域産業活性化基本計画に基づき、1,380億円をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H25	評価対象年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
基準値	実績値	1,215	1,166	1,129	—	1,247	1,280	1,379	—	1,535	1,718	
1,313（推計値）	目標値	1,192	1,192	1,192	1,200	1,235	1,271	1,326	1,339	1,352	1,366	1,380
単位	達成率	—	—	—	—	127.9%	111.4%	507.7%	—	569.2%	764.2%	
億円	判定	a	d	d	—	a	a	a	—	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。
※評価対象年度は、評価実施年度の2ヵ年前。
※平成23、27年については、実績値算定の基礎となる工業統計調査が実施されなかったため、実績値、達成率、判定とも「—」としている。
※本指標は、中間年に点検し、評価対象年度H26～30の目標値、基準年、基準値を見直している。
※見直し前の目標値は、H26～30（1,304）。
※評価対象年度H20～25の基準値は、1,192（基準年H19）。

指 標 管 理 表

指標番号	51	指標名	新製品・新技術等の事業化・商品化率
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-2	施策名	工業の振興
施策の目標	地域資源や地域特性を活かし、新技術・新製品の開発や企業立地を促進するなど、工業を振興します。		

1. 指標の説明

帯広市ものづくり総合支援事業により実施された事業のうち、新製品・新技術・新サービス開発について事業化・商品化された率。
工業の振興の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

ものづくり補助事業採択による事業化・商品化された率。（毎年3月末現在）
（延べ製品化件数÷延べ採択件数・平成12年度からの累計）
工業労政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度3件程度の商品化・事業化をすすめ、67.4%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	65.3	62.5	63.5	64.2	66.2	67.9	66.7	68.1	67.7	67.3	
61.5	目標値	62.1	62.3	63.2	63.9	64.6	65.2	65.8	66.2	66.7	67.1	67.4
単位	達成率	633.3%	125.0%	117.6%	112.5%	151.6%	173.0%	120.9%	140.4%	119.2%	103.6%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	52	指標名	技術指導相談件数
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-2	施策名	工業の振興
施策の目標	地域資源や地域特性を活かし、新技術・新製品の開発や企業立地を促進するなど、工業を振興します。		

1. 指標の説明

十勝産業振興センター、食品加工技術センターにおける1年間の技術指導相談件数。
産業支援機能の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

十勝産業振興センター、食品加工技術センターにおける1年間（毎年4月当初から3月末）の技術指導相談件数。
十勝産業振興センター、食品加工技術センターの集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね40%増の503件をめざします。
（十勝産業振興センターの技術・食品加工技術センターの9人の研究員の1人当たりの技術指導件数を56件/人とし、全体として503件をめざす）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	407	447	660	931	899	893	940	992	1,043	1,047	
363	目標値	386	398	410	422	433	445	457	468	480	492	503
単位	達成率	191.3%	240.0%	631.9%	962.7%	765.7%	646.3%	613.8%	599.0%	581.2%	530.2%	
件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	53	指標名	立地企業件数
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-2	施策名	工業の振興
施策の目標	地域資源や地域特性を活かし、新技術・新製品の開発や企業立地を促進するなど、工業を振興します。		

1. 指標の説明

市内に新設又は増設した工場等のH22からの累計件数。
企業立地の促進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末現在の数値。
工業労政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広十勝地域産業活性化基本計画に基づき、32件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	5	9	16	21	29	35	46	50	55	
—	目標値	—	5	10	15	20	22	24	26	28	30	32
単位	達成率	—	100.0%	90.0%	106.7%	105.0%	131.8%	145.8%	176.9%	178.6%	183.3%	
件	判 定	—	a	b	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値÷各年度目標値）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	54	指標名	卸・小売業及びサービス業の法人市民税賦課金額
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	3-1-3	施策名	商業の振興
施策の目標	商店街の魅力づくりや活性化への取り組みなどを支援し、商業を振興します。		

1. 指標の説明

市内で卸・小売業及びサービス業を営む事業者の法人市民税の賦課金額。
商業の活性化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

卸・小売業及びサービス業の法人市民税賦課額の合計額。
税務統計（帯広市総務部市民税課）による。

3. 目標値設定の考え方

景気の低迷等により数値が減少傾向となっていますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	8.9	10.2	10.4	10.1	10.0	11.0	8.9	9.5	9.2	9.6	
9.8	目標値	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8
単位	達成率	90.8%	104.1%	106.1%	103.1%	102.0%	112.2%	90.8%	96.9%	93.9%	98.0%	
億円	判 定	c	a	a	a	a	a	c	b	c	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	55	指標名	商店街の空き店舗率
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	3-1-3	施策名	商業の振興
施策の目標	商店街の魅力づくりや活性化への取り組みなどを支援し、商業を振興します。		

1. 指標の説明

帯広市商店街振興組合連合会に加盟する商店街組織における空き店舗率。
商店街の活性化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

商業まちづくり課が行う「商店街空き店舗等調査」（毎年7月現在）で算出された空き店舗率
（＝空き店舗数÷（空き店舗数＋店舗数））
商店街空き店舗等調査の基準による。

3. 目標値設定の考え方

景気の低迷等により数値が増加傾向にありますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	10.56	14.03	14.55	9.98	9.11	8.09	8.53	8.13	7.89	8.59	
10.39	目標値	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39	10.39
単位	達成率	98.4%	74.1%	71.4%	104.1%	114.1%	128.4%	121.8%	127.8%	131.7%	121.0%	
%	判 定	b	d	d	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準	5. 評価基準の考え方
達成率が、 a：100.0%以上 b：95.0%以上100.0%未満 c：90.0%以上95.0%未満 d：90.0%未満	達成率（目標値/実績値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	56	指標名	法人市民税の賦課金額
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	3-1-4	施策名	中小企業の基盤強化
施策の目標	経営基盤の強化や人材育成の支援などを通して、中小企業を振興します。		

1. 指標の説明

市内で事業を営む事業者の法人市民税の賦課金額の合計。
中小企業の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

税務統計（帯広市総務部市民税課）による。

3. 目標値設定の考え方

景気の低迷等により数値が減少傾向にありますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	16.8	18.9	19.4	19.7	19.8	22.4	21.0	20.4	20.3	21.2	
21.5	目標値	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5
単位	達成率	78.1%	87.9%	90.2%	91.6%	92.1%	104.2%	97.7%	94.9%	94.4%	98.6%	
億円	判 定	d	d	c	c	c	a	b	c	c	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	57	指標名	法人市民税の賦課法人数
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	3-1-4	施策名	中小企業の基盤強化
施策の目標	経営基盤の強化や人材育成の支援などを通して、中小企業を振興します。		

1. 指標の説明

市内で事業を営む事業者で法人市民税が賦課されている法人数。
中小企業の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

税務統計（帯広市総務部市民税課）による。

3. 目標値設定の考え方

数値はほぼ横ばいで推移していますが、経済状況等を考慮し基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	5,013	4,982	4,927	4,838	4,847	4,871	4,904	4,952	4,977	5,030	
5,067	目標値	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067	5,067
単位	達成率	98.9%	98.3%	97.2%	95.5%	95.7%	96.1%	96.8%	97.7%	98.2%	99.3%	
社	判 定	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	58	指標名	食料品製造業の付加価値生産性
所管部課	産業連携室		
施策番号	3-1-5	施策名	産業間連携の促進
施策の目標	農商工等の連携や産学官の連携を促進し、地域産業を振興します。		

1. 指標の説明

市内の食料品製造業の従業者1人当たりの付加価値額。
地域産業の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

各年度の工業統計調査による。（毎年6月1日現在）
※平成26年までは毎年12月末現在

3. 目標値設定の考え方

数値が下降傾向にありますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
基準値	実績値	894	790	843	—	764	818	935	—	1,160	1,206	
1,002	目標値	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002
単位	達成率	89.2%	78.8%	84.1%	—	76.2%	81.6%	93.3%	—	115.8%	120.4%	
万円	判 定	d	d	d	—	d	d	c	—	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

※評価対象年度は、評価実施年度の2カ年前。

※平成23、27年については、実績値算定の基礎となる工業統計調査が実施されなかったため、実績値、達成率、判定とも「—」としている。

指 標 管 理 表

指標番号	59	指標名	十勝ブランド認証機構による認証企業数
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-5	施策名	産業間連携の促進
施策の目標	農商工等の連携や産学官の連携を促進し、地域産業を振興します。		

1. 指標の説明

安心で安全な美味しい十勝産加工食品を認証する十勝ブランド認証機構による基準をクリアした加工食品を製造する企業件数。
産業間連携の促進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末の延べ認証企業数。

3. 目標値設定の考え方

毎年度1社程度増加させ、33社をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	27	37	31	30	29	40	37	32	32	29	
21	目標値	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
単位	達成率	300.0%	533.3%	250.0%	180.0%	133.3%	271.4%	200.0%	122.2%	110.0%	72.7%	
社	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	60	指標名	大学・試験研究機関の共同研究件数
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-5	施策名	産業間連携の促進
施策の目標	農商工等の連携や産学官の連携を促進し、地域産業を振興します。		

1. 指標の説明

帯広畜産大学、北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センターと市内の企業が共同で行っている研究件数。
産学官連携の促進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

聴き取りによる（毎年3月末現在）

3. 目標値設定の考え方

毎年度1件程度増加させ、44件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	26	24	26	26	32	24	29	22	12	39	
36	目標値	37	37	38	38	39	40	41	42	43	43	44
単位	達成率	-1000.0%	-1200.0%	-500.0%	-500.0%	-133.3%	-300.0%	-140.0%	-233.3%	-342.9%	42.9%	
件	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	61	指標名	有効求人倍率（十勝管内）
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-6	施策名	雇用環境の充実
施策の目標	雇用の拡大や人材の育成・確保に努めるとともに、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広職業安定所管内の有効求人倍率。
雇用環境の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広公共職業安定所に申し込まれている求職者に対する求人数の割合。

3. 目標値設定の考え方

過去10年間の最高値0.63をめざします。
（平成16年度＝0.63）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	0.50	0.56	0.59	0.69	0.84	0.84	0.91	1.11	1.01	1.23	
0.51	目標値	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63
単位	達成率	79.4%	88.9%	93.7%	109.5%	133.3%	133.3%	144.4%	176.2%	160.3%	195.2%	
—	判 定	d	d	c	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	62	指標名	シルバー人材センター登録会員数
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-6	施策名	雇用環境の充実
施策の目標	雇用の拡大や人材の育成・確保に努めるとともに、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

シルバー人材センターの登録会員数。
高齢者の就業機会の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

シルバー人材センターの登録会員数（毎年3月末現在）。
シルバー人材センターの集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去5年間の最大会員数（＝H17年度873人）を上回る880人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	819	826	838	838	768	733	703	664	638	600	
857	目標値	880	880	880	880	880	880	880	880	880	880	880
単位	達成率	93.1%	93.9%	95.2%	95.2%	87.3%	83.3%	79.9%	75.5%	72.5%	68.2%	
人	判 定	c	c	b	b	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	63	指標名	勤労者共済センター会員数
所管部課	商工観光部 工業労政課		
施策番号	3-1-6	施策名	雇用環境の充実
施策の目標	雇用の拡大や人材の育成・確保に努めるとともに、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

勤労者共済センターの市内の会員数。
勤労者福祉の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

勤労者共済センターの市内の会員数。（毎年3月末現在）
とかち勤労者共済センターの集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値（H19年度）を上回る4,700人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	4,422	4,014	4,063	4,049	4,098	4,389	4,539	4,824	4,942	5,283	
4,636	目標値	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700
単位	達成率	94.1%	85.4%	86.4%	86.1%	87.2%	93.4%	96.6%	102.6%	105.1%	112.4%	
人	判 定	c	d	d	d	d	c	b	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	64	指標名	街なか居住人口
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	3-2-1	施策名	中心市街地の活性化
施策の目標	都市機能の向上やにぎわいの創出などを通して、集客・交流をすすめ、まちの顔である中心市街地の活性化をはかります。		

1. 指標の説明

中心市街地140haの居住人口。
中心市街地の活性化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

住民基本台帳による。（毎年9月末現在）

3. 目標値設定の考え方

帯広市中心市街地活性化基本計画に基づき、3,668人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	2,804	2,761	2,795	2,812	2,802	2,790	2,790	2,769	2,740	2,666	
2,851	目標値	3,000	3,384	3,650	3,652	3,654	3,656	3,658	3,660	3,662	3,665	3,668
単位	達成率	-31.5%	-16.9%	-7.0%	-4.9%	-6.1%	-7.6%	-7.6%	-10.1%	-13.7%	-22.7%	
人	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.660%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	65	指標名	中心市街地の歩行者通行量（休日）
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	3-2-1	施策名	中心市街地の活性化
施策の目標	都市機能の向上やにぎわいの創出などを通して、集客・交流をすすめ、まちの顔である中心市街地の活性化をはかります。		

1. 指標の説明

中心市街地の主要8カ所（広小路・南8丁目線・西2条通・西3条通）の休日の歩行者通行量。
中心市街地の活性化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市及び帯広商工会議所調べによる。（毎年6～7月実施）

3. 目標値設定の考え方

帯広市中心市街地活性化基本計画に基づき、28,000人をめざします。
帯広市中心市街地活性化基本計画では、短期目標値（H23）19,000人、空きビル再生の実現による長期目標値28,000人と設定していることから、H23目標は、19,000人とし、H31目標は、イトーヨーカドー移転直後（H10）の実績28,000人を目標値と設定する。なお、H24以降は等分とする。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	10,857	19,471	16,710	25,080	13,895	13,110	23,811	13,198	13,457	14,719	
13,281	目標値	16,500	18,073	19,000	20,125	21,250	22,375	23,500	24,625	25,750	26,875	28,000
単位	達成率	-75.3%	129.2%	60.0%	172.4%	7.7%	-1.9%	103.0%	-0.7%	1.4%	10.6%	
人	判定	d	a	c	a	d	d	a	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	66	指標名	観光入込客数（延べ人数）
所管部課	商工観光部 観光課		
施策番号	3-2-2	施策名	観光の振興
施策の目標	魅力ある地域資源の利活用をはじめ、情報発信や広域連携の推進などにより、観光を振興します。		

1. 指標の説明

1年間の市内の観光入込客数延べ人数。
観光の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の市内の観光入込客数延べ人数。
北海道観光入込客数調査要領に基づき、観光課が集計して算出。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね15%増の272万人をめざします。
（毎年度概ね3万人ずつ増加させていく）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	217	238	239	248	251	258	270	248	270	293	
236	目標値	242	245	248	251	254	257	260	263	266	269	272
単位	達成率	-316.7%	22.2%	25.0%	80.0%	83.3%	104.8%	141.7%	44.4%	113.3%	172.7%	
万人	判 定	d	d	d	b	b	a	a	c	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	67	指標名	宿泊客延べ数
所管部課	商工観光部 観光課		
施策番号	3-2-2	施策名	観光の振興
施策の目標	魅力ある地域資源の利活用をはじめ、情報発信や広域連携の推進などにより、観光を振興します。		

1. 指標の説明

1年間の市内の宿泊客延べ数。
観光の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の市内の宿泊客延べ数。
北海道観光入込客数調査要領に基づき、観光課が集計して算出。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね14%増の95.2万人泊をめざします。
（毎年度概ね1万人ずつ増加させていく）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	87.8	85.7	90.8	95.6	97.0	102.4	97.8	107.8	114.1	127.0	
83.7	目標値	84.8	85.8	86.8	87.9	88.9	90.0	91.0	92.1	93.1	94.2	95.2
単位	達成率	372.7%	95.2%	229.0%	283.3%	255.8%	296.8%	193.2%	286.9%	323.4%	412.4%	
万人泊	判 定	a	b	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	68	指標名	帯広観光コンベンション協会のホームページアクセス件数
所管部課	商工観光部 観光課		
施策番号	3-2-2	施策名	観光の振興
施策の目標	魅力ある地域資源の利活用をはじめ、情報発信や広域連携の推進などにより、観光を振興します。		

1. 指標の説明

帯広観光コンベンション協会のホームページにおける観光情報サイトの1年間のアクセス件数。
観光情報発信の取り組みを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広観光コンベンション協会のホームページにおける観光情報サイトの1年間（毎年4月当初から3月末）のアクセス件数。
帯広観光コンベンション協会の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね70%増の20.3万件をめざします。
（毎年度7千件ずつ増加させていく）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	24.0	24.6	26.2	25.4	26.1	31.8	25.5	32.7	37.9	43.8	
11.9	目標値	13.3	14.0	14.7	15.4	16.1	16.8	17.5	18.2	18.9	19.6	20.3
単位	達成率	864.3%	604.8%	510.7%	385.7%	338.1%	406.1%	242.9%	330.2%	371.4%	414.3%	
万件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	69	指標名	帯広物産協会の物産取扱額
所管部課	商工観光部 観光課		
施策番号	3-2-2	施策名	観光の振興
施策の目標	魅力ある地域資源の利活用をはじめ、情報発信や広域連携の推進などにより、観光を振興します。		

1. 指標の説明

物産展やアンテナショップにおける帯広物産協会の1年間の物産取扱額。
物産振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

物産展やアンテナショップにおける帯広物産協会の1年間（毎年4月当初から3月末）の物産取扱額。
帯広物産協会の物産取扱実績額による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね30%増の7.6億円をめざします。
（毎年度1千4百万円ずつ増加させていく）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	5.9	6.3	6.5	6.0	6.4	6.4	6.7	7.1	6.1	5.9	
5.9	目標値	6.1	6.3	6.4	6.6	6.7	6.9	7.0	7.1	7.3	7.4	7.6
単位	達成率	0.0%	100.0%	120.0%	14.3%	62.5%	50.0%	72.7%	100.0%	14.3%	0.0%	
億円	判定	d	a	a	d	c	c	b	a	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	70	指標名	市内から排出される二酸化炭素（CO ₂ ）削減量
所管部課	市民環境部 環境都市推進課		
施策番号	4-1-1	施策名	地球環境の保全
施策の目標	豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出抑制などを通して環境への負荷を低減し、快適な生活環境を保全します。		

1. 指標の説明

市内の二酸化炭素排出削減量のH22からの累計量。
環境負荷低減の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

一定の成果のあった取り組みごとに二酸化炭素削減量を算出する。
毎年5月末時点の数値のH22からの削減累計量。
環境都市推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市環境モデル都市行動計画に基づき、24.4万t-CO₂をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	3.6	5.2	6.3	9.9	13.2	15.1	17.1	19.6	22.3	
—	目標値	—	4.5	6.1	7.9	12.1	14.0	15.8	17.7	19.7	22.4	24.4
単位	達成率	—	80.0%	84.6%	79.9%	81.5%	94.3%	95.6%	96.6%	99.5%	99.6%	
万t-CO ₂	判 定	—	b	b	b	b	b	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値÷各年度目標値）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	71	指標名	環境にやさしい活動実践校数
所管部課	市民環境部 環境都市推進課		
施策番号	4-1-1	施策名	地球環境の保全
施策の目標	豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出抑制などを通して環境への負荷を低減し、快適な生活環境を保全します。		

1. 指標の説明

環境にやさしい活動に取り組み、市が「帯広市環境にやさしい活動実践校」として認定した学校数。
環境学習の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

環境都市推進課の認定による実数。（毎年3月末現在）

3. 目標値設定の考え方

毎年度3校程度を新規に認定し、41校（全小中学校と帯広南商業高等学校）をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	14	17	20	25	26	28	32	35	41	41	
10	目標値	14	17	20	23	26	29	32	35	38	41	41
単位	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	115.4%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	110.7%	100.0%	
校	判 定	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	72	指標名	二酸化窒素（NO ₂ ）基準値の達成率
所管部課	市民環境部 環境都市推進課		
施策番号	4-1-1	施策名	地球環境の保全
施策の目標	豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出抑制などを通して環境への負荷を低減し、快適な生活環境を保全します。		

1. 指標の説明

生活環境の保全を測る指標として設定します。指標は、暖房を使用し大気が汚れる冬期間（11～3月）の、二酸化窒素（NO₂）の環境基準値（1時間値0.04ppm以下）達成率とします。
 ※平成30年3月31日で自動測定機による常時監視を廃止したため、平成30年度分より実績値

2. 実績値の算定方法、出典等

大気環境基準物質（二酸化窒素（NO₂））の測定による。
 算出方法は冬期間（11～3月）の、「のべ有効測定時間数」に対する「のべ基準値達成時間数」の割合で、算式は下記のとおり。
 のべ基準値（0.04ppm以下）達成時間数 ÷ のべ有効測定時間数（11～3月の5ヵ月間の時間数）

3. 目標値設定の考え方

第二期帯広市環境基本計画に基づき、100.0%を目指します。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	92.7	94.3	97.0	89.0	99.0	96.8	96.7	96.1	97.2	-	
94.1	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
単位	達成率	92.7%	94.3%	97.0%	89.0%	99.0%	96.8%	96.7%	96.1%	97.2%	-	
%	判 定	c	c	b	d	b	b	b	b	b	-	

4. 評価基準

達成率が、
 a：100.0%以上
 b：95.0%以上100.0%未満
 c：90.0%以上95.0%未満
 d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

※平成30年3月31日で、自動測定機による常時監視を廃止したため、平成30年度以降は「二酸化窒素（NO₂）基準値の達成率」を実績値、達成率、判定とも「－」としている。

指 標 管 理 表

指標番号	73	指標名	市民1人1日当たりのごみの排出量
所管部課	市民環境部 清掃事業課		
施策番号	4-1-2	施策名	廃棄物の資源化と適正処理
施策の目標	行政と市民、事業者が役割と責任に基づき、ごみの減量化や資源化、廃棄物の適正処理に取り組み、循環型の地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市民1人1日当たりのごみ排出量。
ごみの発生抑制の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

ごみ総排出量（毎年4月当初から3月末）÷人口数（毎年9月末現在）÷365日。
清掃事業概要、一般廃棄物処理事業実態調査による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市一般廃棄物処理基本計画に基づき、702gをめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	932	942	945	944	956	927	926	923	927	935	
978	目標値	1,130	883	856	831	808	786	766	747	731	716	702
単位	達成率	335.7%	37.9%	27.0%	23.1%	12.9%	26.6%	24.5%	23.8%	20.6%	16.4%	
g	判 定	a	c	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、H21の目標値については、ごみ処理基本計画（H18改訂）の最終年度（H21）の数値を用いることとし、基準値は、同計画の実績値（1,214g）を用いた。

指 標 管 理 表

指標番号	74	指標名	リサイクル率
所管部課	市民環境部 清掃事業課		
施策番号	4-1-2	施策名	廃棄物の資源化と適正処理
施策の目標	行政と市民、事業者が役割と責任に基づき、ごみの減量化や資源化、廃棄物の適正処理に取り組み、循環型の地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

資源化量（「Sの日」資源化量＋集団回収量＋施設内資源化量）が、ごみの総排出量に占める割合。
再資源化の促進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

（「Sの日」資源化量＋集団回収量＋施設内資源化量）÷（ごみ排出量＋「Sの日」処理量＋集団回収量）
（いずれも毎年4月当初から3月末）。
清掃事業概要、一般廃棄物処理事業実態調査による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市一般廃棄物処理基本計画に基づき、40.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	27.3	26.5	26.2	26.2	26.7	26.6	26.6	26.3	25.5	24.7	
29.2	目標値	30.0	30.0	31.0	32.0	33.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
単位	達成率	52.6%	-337.5%	-166.7%	-107.1%	-65.8%	-44.8%	-38.5%	-37.2%	-42.0%	-45.9%	
%	判 定	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、H21の目標値については、ごみ処理基本計画（H18改訂）の最終年度（H21）の数値を用いることとし、基準値は、同計画の実績値（24.3%）を用いた。

指 標 管 理 表

指標番号	75	指標名	ごみステーションの指導率
所管部課	市民環境部 清掃事業課		
施策番号	4-1-2	施策名	廃棄物の資源化と適正処理
施策の目標	行政と市民、事業者が役割と責任に基づき、ごみの減量化や資源化、廃棄物の適正処理に取り組み、循環型の地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

ごみの排出について指導を要するごみステーションが、ごみステーションの総数に占める割合。
ごみの適正な排出に関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

指導を要したごみステーション÷ごみステーションの総数。
調査は年2回行われることから、2回の平均値。
ごみステーション排出状況調査による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度0.1%程度低下させ2.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H18-20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3.5	3.5	3.2	3.2	2.9	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	
3.8	目標値	3.4	3.2	3.1	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.3	2.1	2.0
単位	達成率	75.0%	50.0%	85.7%	66.7%	90.0%	100.0%	92.3%	92.9%	80.0%	70.6%	
%	判 定	b	c	b	b	b	a	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	76	指標名	ごみの適正分別率
所管部課	市民環境部 清掃事業課		
施策番号	4-1-2	施策名	廃棄物の資源化と適正処理
施策の目標	行政と市民、事業者が役割と責任に基づき、ごみの減量化や資源化、廃棄物の適正処理に取り組み、循環型の地域社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

適切に分別された「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」、「資源ごみ」の量が、各ごみの合計量に占める割合。
ごみの適正な排出に関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

計算式：100%－混入率（他のごみが混入している量÷各ごみの合計量）。
（毎年4月当初から3月末）
ごみ組成分析調査による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度0.1%程度増加させ、91.8%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H18-20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	85.7	91.6	89.9	91.1	91.2	91.2	91.0	91.3	91.5	91.3	
91.0	目標値	91.1	91.2	91.3	91.3	91.4	91.5	91.6	91.6	91.7	91.8	91.8
単位	達成率	-5300.0%	300.0%	-366.7%	33.3%	50.0%	40.0%	0.0%	50.0%	71.4%	37.5%	
%	判 定	d	a	d	c	c	c	d	c	b	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	77	指標名	市民1人当たりの公園面積
所管部課	都市建設部 みどりの課		
施策番号	4-2-1	施策名	公園・緑地の整備
施策の目標	公園・緑地の整備や市民による緑化活動を支援し、市民と行政の協働により、花と緑の環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

都市計画区域内で開設された人口1人当たりの公園・緑地面積。
 (都市計画区域内開設面積＋緑地面積(墓園を含む)÷都市計画区域内人口)
 公園の適切な配置を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

都市公園条例による開設公園・緑地面積(墓園を含む)÷都市計画区域内人口
 都市計画区域内人口については、毎年度の人口(毎年3月末現在)に0.970(行政区域内人口に占める都市計画区域内人口の割合(H27国勢調査時))を乗じて算出。
 行政区域内人口に占める都市計画区域内人口の割合は、国勢調査年ごとに修正する。

3. 目標値設定の考え方

緑の基本計画に基づき、47.7㎡をめざします。
 $786.97\text{ha} \div 165,000 (170,000 \times 0.971) = 47.7\text{㎡/人}$

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	44.7	44.6	45.1	45.7	45.8	46.0	46.1	46.4	46.6	46.8	
43.7	目標値	44.1	44.5	45.1	45.5	45.9	46.3	46.6	46.8	47.0	47.3	47.7
単位	達成率	250.0%	112.5%	100.0%	111.1%	95.5%	88.5%	82.8%	87.1%	87.9%	86.1%	
㎡	判 定	a	a	a	a	b	b	b	b	b	b	

4. 評価基準	5. 評価基準の考え方
達成率が、 a : 100.00%以上 b : 66.66%以上100.0%未満 c : 33.33%以上66.66%未満 d : 33.33%未満	達成率(実績値－基準値)÷(各年度目標値－基準値)が、 100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	78	指標名	歩いて行ける身近なみどりの充足率
所管部課	都市建設部 みどりの課		
施策番号	4-2-1	施策名	公園・緑地の整備
施策の目標	公園・緑地の整備や市民による緑化活動を支援し、市民と行政の協働により、花と緑の環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

歩いていける範囲の公園緑地が体系的に整備されている状態を表した整備率。身近なみどりの整備の進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市街化区域内（用途地域）で歩いて行ける範囲の公園緑地のネットワークが体系的に（小規模：ポケットパーク、街区公園等 中規模：近隣公園、都市緑地等 大規模：地区公園、総合公園、運動公園等）整備されている状態を100とした整備率。

$$\left(\text{市街化区域内における供用公園数} \div (\text{住区数} \times 1 \text{ 住区の公園標準箇所数}) \times (\text{平均供用面積} \div \text{公園標準面積}) \times 100 \right)。$$

3. 目標値設定の考え方

計画的に整備をすすめ、基準値の概ね5%増の83.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	80.5	81.5	81.8	81.8	82.0	82.3	82.5	82.5	82.5	82.5	
78.3	目標値	78.5	78.8	79.3	79.8	80.0	82.0	82.0	82.3	82.3	82.5	83.0
単位	達成率	1100.0%	640.0%	350.0%	233.3%	217.6%	108.1%	113.5%	105.0%	105.0%	100.0%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（ $(\text{実績値} - \text{基準値}) \div (\text{各年度目標値} - \text{基準値})$ ）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	79	指標名	帯広の森に関わるボランティア登録者数
所管部課	都市建設部 みどりの課		
施策番号	4-2-1	施策名	公園・緑地の整備
施策の目標	公園・緑地の整備や市民による緑化活動を支援し、市民と行政の協働により、花と緑の環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広の森の育成管理や森の資源の利活用を行うボランティアの人数。
帯広の森の利活用の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

「帯広の森」において、①植樹や間伐などの育成管理、②自然観察や木工クラフトなどの森の資源の利活用を行うボランティアの人数。（毎年3月末現在）
市が承認した登録者数、団体の構成員数は、団体から提出される名簿等による。
なお、団体登録については、その構成員全員を人数に含める。ただし、企業等がボランティア登録した場合は、実際に森づくり活動に参加する人数とする。

3. 目標値設定の考え方

平成22年4月に「帯広の森・はぐくむ」がオープンし、ボランティアの活動拠点ができることから、基準値の倍増である200人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	98	156	167	180	164	171	167	204	258	282	
96	目標値	120	140	150	160	170	175	180	185	190	195	200
単位	達成率	8.3%	136.4%	131.5%	131.3%	91.9%	94.9%	84.5%	121.3%	172.3%	187.9%	
人	判 定	d	a	a	a	b	b	b	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	80	指標名	水道管路の近代化率
所管部課	上下水道部 水道課		
施策番号	4-2-2	施策名	水道水の安定供給
施策の目標	水道施設の維持・整備をすすめ、安全でおいしい水の安定供給をはかります。		

1. 指標の説明

強度や耐久性に優れたダクタイル鋳鉄管・鋼管が、水道管路総延長に占める割合。水道水の供給の安全・安定性を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

(ダクタイル鋳鉄管＋鋼管) ÷ 管路総延長 (毎年3月末現在)
「水道事業ガイドライン」業務指標による。

3. 目標値設定の考え方

水道管路近代化推進事業計画及び第7次配水管整備事業計画に基づき、89.7%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	80.2	81.5	83.8	84.8	85.7	87.0	88.3	89.1	90.0	91.0	
78.9	目標値	80.2	81.2	82.2	83.4	84.4	85.4	86.3	87.2	87.9	88.8	89.7
単位	達成率	100.0%	113.0%	148.5%	131.1%	123.6%	124.6%	127.0%	122.9%	123.3%	122.2%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率 $\left(\frac{\text{実績値} - \text{基準値}}{\text{各年度目標値} - \text{基準値}} \right)$ が、100.00%以上を a とし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	81	指標名	水道有収率
所管部課	上下水道部 水道課		
施策番号	4-2-2	施策名	水道水の安定供給
施策の目標	水道施設の維持・整備をすすめ、安全でおいしい水の安定供給をはかります。		

1. 指標の説明

料金徴収の対象となった年間水量（有収水量）が、年間総配水量に占める割合。
水道事業経営の健全性を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

有収水量（毎年4月当初から3月末）÷総配水量（毎年4月当初から3月末）
「水道事業ガイドライン」業務指標による。

3. 目標値設定の考え方

基準値が90.0%を超え一定程度高い数値であることから、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	90.0	91.0	90.4	91.4	92.6	92.1	91.2	89.9	91.5	90.6	
90.6	目標値	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6	90.6
単位	達成率	99.3%	100.4%	99.8%	100.9%	102.2%	101.7%	100.7%	99.2%	101.0%	100.0%	
%	判 定	b	a	b	a	a	a	a	b	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	82	指標名	汚水整備率
所管部課	上下水道部 下水道課		
施策番号	4-2-3	施策名	下水道の整備
施策の目標	下水道施設の維持・整備をはかり、快適な生活環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

下水道汚水整備面積が、下水道認可区域面積に占める割合。
快適な生活環境を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

汚水整備済面積÷認可区域面積（毎年3月末現在）

3. 目標値設定の考え方

土地利用計画及び道路整備計画と整合をはかりながら整備をすすめ、98.8%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	97.9	98.3	98.7	98.8	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	
97.9	目標値	97.9	98.0	98.1	98.2	98.3	98.3	98.4	98.5	98.6	98.7	98.8
単位	達成率	—	400.0%	400.0%	300.0%	275.0%	275.0%	220.0%	183.3%	157.1%	137.5%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満の場合は、dとする。

指 標 管 理 表

指標番号	83	指標名	雨水整備率
所管部課	上下水道部 下水道課		
施策番号	4-2-3	施策名	下水道の整備
施策の目標	下水道施設の維持・整備をはかり、快適な生活環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

下水道雨水整備面積が、雨水整備が必要な面積に占める割合。
快適な生活環境を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

雨水整備面積（毎年3月末現在）÷雨水整備必要面積（平成20年3月末現在2,686㎡）
※雨水整備必要面積については、平成20年3月末現在の数値を用いる。

3. 目標値設定の考え方

市街化区域における浸水被害が高いと想定される区域（雨水整備が必要な面積）の解消をはかり、71.3%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	66.7	67.6	68.2	68.5	68.9	69.2	69.5	69.7	71.0	71.4	
65.0	目標値	66.3	67.0	67.7	68.1	68.4	68.9	69.2	69.6	70.1	70.6	71.3
単位	達成率	130.8%	130.0%	118.5%	112.9%	114.7%	107.7%	107.1%	102.2%	117.6%	114.3%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.0%以上をaとし、以下33.3%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	84	指標名	個別排水処理施設整備率
所管部課	農政部 農村振興課		
施策番号	4-2-3	施策名	下水道の整備
施策の目標	下水道施設の維持・整備をはかり、快適な生活環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

個別排水処理施設の設置基数が、目標設置基数（500基）に占める割合。
農村地域における快適な生活環境を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

設置済基数÷目標設置基数（500基）×100。（毎年3月末現在）

3. 目標値設定の考え方

計画的に整備をすすめ、100.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	72.4	76.6	81.8	87.8	93.6	97.2	101.2	105.4	109.0	112.6	
64.8	目標値	72.4	77.0	80.4	83.4	86.4	89.4	91.8	94.0	96.0	98.0	100.0
単位	達成率	100.0%	96.7%	109.0%	123.7%	133.3%	131.7%	134.8%	139.0%	141.7%	144.0%	
%	判 定	a	b	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	85	指標名	老朽化した市営住宅等の割合
所管部課	都市建設部 住宅課		
施策番号	5-1-1	施策名	住環境の充実
施策の目標	公営住宅の整備や民間活力による未利用地の利用促進など、多様な市民ニーズに応じた、快適に暮らせる住環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

耐用年限の2分の1を経過し老朽化した簡易耐火構造の平屋建て、2階建て市営住宅が市営住宅総戸数に占める割合。
住環境の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

耐用年限の1/2を経過した簡易耐火構造の平屋建て、2階建て市営住宅戸数÷市営住宅総戸数。（毎年3月末現在）
住宅課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市公共賃貸住宅ストック総合活用計画に基づき、1.36%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	7.97	7.97	7.99	7.99	7.20	7.21	7.18	4.84	4.84	2.92	
10.38	目標値	8.08	8.05	8.00	8.00	7.97	7.94	5.62	5.26	2.89	1.86	1.36
単位	達成率	104.8%	103.4%	100.4%	100.4%	132.0%	129.9%	67.2%	108.2%	74.0%	87.6%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	b	a	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	86	指標名	高齢者及び身障者に対応した市営住宅等の割合
所管部課	都市建設部 住宅課		
施策番号	5-1-1	施策名	住環境の充実
施策の目標	公営住宅の整備や民間活力による未利用地の利用促進など、多様な市民ニーズに応じた、快適に暮らせる住環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

高齢者及び身障者に対応した設備が整備された市営住宅が、市営住宅等（特定公共賃貸住宅含む）の総数に占める割合。
 高齢者や障害者が快適に暮らせる住環境の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

①便所及び浴室への手摺の設置、②共用階段への手摺の設置（片側以上）、③緊急通報警報ブザーの設置（便所を含む2ヶ所以上）、④住戸内部の段差解消（主要部分）の4つの設備が整備されている高齢者及び身障者適応市営住宅÷市営住宅総数（特公賃含む）
 （毎年3月末現在）
 住宅課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度2.5%程度増加させ、65.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	40.0	40.8	44.5	48.0	52.2	53.2	55.2	64.0	64.0	66.3	
37.1	目標値	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	52.5	55.0	57.5	60.0	62.5	65.0
単位	達成率	100.0%	68.5%	93.9%	104.8%	117.1%	104.5%	101.1%	131.9%	117.5%	115.0%	
%	判 定	a	b	b	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
 a：100.00%以上
 b：66.66%以上100.0%未満
 c：33.33%以上66.66%未満
 d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	87	指標名	未利用地の宅地整備累計面積
所管部課	都市建設部 都市計画課		
施策番号	5-1-1	施策名	住環境の充実
施策の目標	公営住宅の整備や民間活力による未利用地の利用促進など、多様な市民ニーズに応じた、快適に暮らせる住環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

道路整備を支援した宅地整備面積のH22からの累計面積。
快適な宅地の整備の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

開発許可累計面積。（毎年3月末現在）
都市計画課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

1箇所概ね1.1haの宅地整備を年2件程度整備し、H22からの累計で22.0haをめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	0.0	0.2	1.1	2.0	2.0	2.0	3.5	3.5	4.5	
—	目標値	—	2.2	4.4	6.6	8.8	11.0	13.2	15.4	17.6	19.8	22.0
単位	達成率	—	0.0%	5.2%	16.7%	22.7%	18.2%	15.2%	22.7%	19.9%	22.7%	
h a	判 定	—	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値÷各年度目標値）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	88	指標名	まちづくりデザイン賞の応募件数
所管部課	都市建設部 都市計画課		
施策番号	5-1-2	施策名	魅力ある景観の形成
施策の目標	景観に関する意識の向上をはかり、豊かな自然に恵まれた帯広・十勝らしい、魅力ある景観づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広の風土と調和した優れたデザインの建造物等や、まちづくりに関する活動を行う団体・個人を募集し表彰する「帯広市まちづくりデザイン賞」の1年間の応募者数（「まち創り部門」と「まち育て部門」の合計応募数）。個性豊かな都市景観づくりを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

「帯広市まちづくりデザイン賞」の1年間の応募者数（「まち創り部門」と「まち育て部門」の合計応募数）。都市計画課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の倍増である6件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	4	3	5	4	4	8	5	2	6	5	
3	目標値	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	6
単位	達成率	—	—	—	—	100.0%	500.0%	200.0%	-50.0%	150.0%	100.0%	
件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	d	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a : 100.00%以上
b : 66.66%以上100.0%未満
c : 33.33%以上66.66%未満
d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	89	指標名	地区計画区域の宅地利用率
所管部課	都市建設部 都市計画課		
施策番号	5-1-2	施策名	魅力ある景観の形成
施策の目標	景観に関する意識の向上をはかり、豊かな自然に恵まれた帯広・十勝らしい、魅力ある景観づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

住環境や街並み保全等を目的として、地域住民が主体となって定める地区計画における計画区域内の宅地利用率。
地区計画区域の宅地利用が進むことは、良好な景観形成につながることから、景観形成を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

地区計画を都市計画決定している区域の宅地総面積に対する宅地利用面積の割合。
(宅地利用面積÷宅地総面積)
都市計画課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

大規模区画整理事業の造成が終了するH23までは1.4%、それ以降は毎年度0.7%程度上昇させ、90.0%をめざします。
基準年から平成23年までは1.4%増、稲田川西地区造成終了後以降は、宅地の放出量も減少することから増進率は半分の0.7%として推計し、目標年は90.0%とする。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	80.3	81.2	83.9	86.1	87.4	91.5	92.9	94.0	96.3	97.0	
78.7	目標値	81.5	82.9	84.3	85.0	85.7	86.4	87.1	87.8	88.5	89.2	90.0
単位	達成率	57.1%	59.5%	92.9%	117.5%	124.3%	166.2%	169.0%	168.1%	179.6%	174.3%	
%	判 定	c	c	b	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a : 100.00%以上
b : 66.66%以上100.0%未満
c : 33.33%以上66.66%未満
d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（(実績値－基準値)÷(各年度目標値－基準値)）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	90	指標名	耕地防風林苗木植栽数（再掲）
所管部課	農政部 農村振興課		
施策番号	5-1-2	施策名	魅力ある景観の形成
施策の目標	景観に関する意識の向上をはかり、豊かな自然に恵まれた帯広・十勝らしい、魅力ある景観づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

耕地防風林苗木の1年間の植栽数。
帯広・十勝の美しい農村景観を創り出していることから、景観の形成を測る指標として再掲して設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市耕地防風林整備促進事業実績報告の苗木本数を農村振興課で集計。

3. 目標値設定の考え方

耕地防風林を植栽する農家を毎年度1戸相当（植栽本数150本程度）増加させ、7,000本をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	5,785	6,021	3,125	5,460	3,500	3,410	930	3,740	3,261	2,640	
5,660	目標値	5,710	5,810	5,960	6,110	6,260	6,410	6,560	6,660	6,760	6,860	7,000
単位	達成率	250.0%	240.7%	-845.0%	-44.4%	-360.0%	-300.0%	-525.6%	-192.0%	-218.1%	-251.7%	
本	判定	a	a	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	91	指標名	中島霊園の貸出区画数
所管部課	市民環境部 戸籍住民課		
施策番号	5-1-3	施策名	墓地・火葬場の整備
施策の目標	市民ニーズに応じた墓地の整備と火葬場の適切な維持管理を行います。		

1. 指標の説明

中島霊園における累計貸付区画数。
墓地需要の予測とともに墓地環境、市民ニーズを把握し、過大投資や貸出区画の不足が生じないように、適切な造成計画を推進していくための指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

戸籍住民課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

需要に応じた計画的な整備をすすめ、2,630区画をめざします。
厚生労働省による死亡者推計基礎データ、墓地需要予測（市単独推計）、H19墓地市民アンケート調査や近年の墓地環境の変化などを参考として、各年毎の貸出区画を設定。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	1,128	1,265	1,388	1,505	1,628	1,694	1,774	1,828	1,866	1,897	
909	目標値	1,180	1,320	1,460	1,600	1,740	1,880	2,030	2,180	2,330	2,480	2,630
単位	達成率	80.8%	86.6%	86.9%	86.3%	86.5%	80.8%	77.2%	72.3%	67.3%	62.9%	
区画	判定	b	b	b	b	b	b	b	b	b	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	92	指標名	都市計画道路整備率（市道分）
所管部課	都市建設部 土木課		
施策番号	5-2-1	施策名	道路網の整備
施策の目標	幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行うとともに、歩行者や自転車を利用しやすい環境を整備し、安全で快適な道路環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

都市計画決定された道路延長（市道分）のうち、完全整備された道路延長（市道分）の割合。道路整備の進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

都市計画道路整備延長（市道分）÷都市計画道路決定延長（市道分）
土木課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

計画的に整備をすすめ、88.2%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	81.6	83.9	85.2	85.5	86.0	86.7	87.0	87.0	87.6	87.9	
79.6	目標値	81.3	82.0	83.7	84.1	84.2	84.6	85.2	86.5	86.5	87.1	88.2
単位	達成率	117.6%	179.2%	136.6%	131.1%	139.1%	142.0%	132.1%	107.2%	115.9%	110.7%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	93	指標名	特殊舗装の道路延長
所管部課	都市建設部 道路維持課		
施策番号	5-2-1	施策名	道路網の整備
施策の目標	幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行うとともに、歩行者や自転車が利用しやすい環境を整備し、安全で快適な道路環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

特殊舗装（路盤改良を行わない簡易な舗装）の道路延長。
適切な道路の維持・管理を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度の整備実績による。
道路維持課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

計画的に特殊舗装の道路延長を減らし、230kmをめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	286	275	262	255	249	244	239	234	230	227	
314	目標値	292	286	278	272	266	260	254	248	242	236	230
単位	達成率	127.3%	139.3%	144.4%	140.5%	135.4%	129.6%	125.0%	121.2%	116.7%	111.5%	
km	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	94	指標名	除雪1回当たりの苦情件数
所管部課	都市建設部 道路維持課		
施策番号	5-2-1	施策名	道路網の整備
施策の目標	幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行うとともに、歩行者や自転車を利用しやすい環境を整備し、安全で快適な道路環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

除雪1回あたりの苦情件数。
安全で快適な道路の維持・管理を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度の除雪に係る苦情件数（道路維持課・管理課・除雪センターの合計）÷除雪回数。
道路維持課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね30%減の200件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	232	280	278	284	160	284	308	305	322	44	
275	目標値	270	267	259	251	243	236	229	222	215	209	200
単位	達成率	860.0%	-62.5%	-18.8%	-37.5%	359.4%	-23.1%	-71.7%	-56.6%	-78.3%	350.0%	
件	判定	a	d	d	d	a	d	d	d	d	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（基準値－実績値）÷（基準値－各年度目標値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	95	指標名	道東自動車道の1日当たり利用台数
所管部課	都市建設部 都市計画課		
施策番号	5-2-2	施策名	総合的な交通体系の充実
施策の目標	関係機関との連携により、高速道路、空港・港湾、公共交通など、総合的な交通体系の整備・充実をすすめます。		

1. 指標の説明

道東自動車道の十勝清水・池田間における1年間（毎年4月当初から3月末）の日平均利用台数。
広域道路の利活用を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

東日本高速道路株式会社の交通量資料による。

3. 目標値設定の考え方

今後の新たな区間の開通を考慮し、概ね70%増の2,750台をめざします。
H19のトマム開通後に10%、H21の占冠開通後に10%、H24予定の夕張開通後に20%、
後年次に開通が考えられる浦幌～釧路間等開通後に20%の増とし、次の新たな区間の開通までは、横ばいに推移すると考えて設定。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	2,392	6,051	4,073	3,732	3,999	3,831	4,341	5,355	5,038	5,200	
1,570	目標値	1,910	1,910	1,910	2,290	2,290	2,290	2,290	2,290	2,750	2,750	2,750
単位	達成率	241.8%	1317.9%	736.2%	300.3%	337.4%	314.0%	384.9%	525.7%	293.9%	307.6%	
台	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	96	指標名	とちち帯広空港の定期便利用乗降客数
所管部課	商工観光部 空港事務所		
施策番号	5-2-2	施策名	総合的な交通体系の充実
施策の目標	関係機関との連携により、高速道路、空港・港湾、公共交通など、総合的な交通体系の整備・充実をすすめます。		

1. 指標の説明

とちち帯広空港における1年間（毎年4月当初から3月末）の定期便の乗降客数。空港の利活用を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

空港事務所の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね5%増の63.1万人をめざします。
関西線の運航期間短縮及び運休などにより、今後、定期便利用者が大きく増えることは難しいが、羽田空港再拡張に合わせた複数社運航など航空路線の充実及び利用促進策の積極的な推進により、毎年度の乗降客数の増加をめざす。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	55.7	52.0	53.0	54.4	56.6	58.2	60.5	62.2	66.6	67.8	
60.2	目標値	60.2	60.2	60.5	60.8	61.1	61.5	61.8	62.1	62.4	62.8	63.1
単位	達成率	—	—	-2400.0%	-966.7%	-400.0%	-153.8%	18.7%	105.3%	290.9%	292.3%	
万人	判定	d	d	d	d	d	d	d	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	97	指標名	バス利用者数（十勝管内）
所管部課	商工観光部 商業まちづくり課		
施策番号	5-2-2	施策名	総合的な交通体系の充実
施策の目標	関係機関との連携により、高速道路、空港・港湾、公共交通など、総合的な交通体系の整備・充実をすすめます。		

1. 指標の説明

路線バスの1年間（毎年10月当初から9月末）のバス利用者数。（定期観光・市町村生活バスを除く）
バス交通の活性化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

事業報告書（バス事業者が国土交通省へ報告する数値）による。

3. 目標値設定の考え方

数値の減少が続いていますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	407.0	402.1	408.0	426.3	450.6	452.2	446.3	440.3	449.4	449.5	
395.8	目標値	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8	395.8
単位	達成率	102.8%	101.6%	103.1%	107.7%	113.8%	114.2%	112.8%	111.2%	113.5%	113.6%	
万人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	98	指標名	インターネットの超高速通信が可能なエリアの割合
所管部課	総務部 情報システム課		
施策番号	5-2-3	施策名	地域情報化の推進
施策の目標	事業者等との連携により、高度情報通信基盤の整備や利活用を促進し、地域の情報化をすすめます。		

1. 指標の説明

帯広市内の人が住んでいる地域のうち、超高速通信（概ね30Mbps以上）ができる地域の割合。
情報通信基盤の整備の進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

H22年3月末時点での、帯広市内の人が住んでいる地域のうち、超高速通信（概ね30Mbps以上）ができる地域の割合。（面積比で計算）
大手通信事業者及びOCTVの超高速通信の利用できる区域を参考に情報システム課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

民間事業者との連携をはかり、100.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	19.0	19.0	19.0	89.8	98.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
19.0	目標値	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	30.0	50.0	80.0	100.0	100.0
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	736.4%	261.3%	132.8%	100.0%	
%	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値が基準と同じ数値の場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	99	指標名	帯広市のホームページアクセス件数
所管部課	政策推進部 広報広聴課		
施策番号	5-2-3	施策名	地域情報化の推進
施策の目標	事業者等との連携により、高度情報通信基盤の整備や利活用を促進し、地域の情報化をすすめます。		

1. 指標の説明

帯広市ホームページの1年間の総アクセス数。
情報通信の利活用を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市ホームページの1年間（毎年4月当初から3月末）のパソコン版・携帯電話版の公開ページの年度アクセス総数。
市ホームページ管理ソフトより集計。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の450万件をめざします。
※H19年11月にHPリニューアルがされたため、基準値については、H20年1月～12月のアクセス数をH19の基準値とみなした。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	463	546	540	706	847	1,008	1,068	1,085	1,163	1,358	
404	目標値	405	405	410	415	420	425	430	435	440	445	450
単位	達成率	5900.0%	14200.0%	2266.7%	2745.5%	2768.8%	2876.2%	2553.8%	2196.8%	2108.3%	2326.8%	
万件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	100	指標名	標準学力検査の目標基準到達観点数
所管部課	学校教育部 教育研究所		
施策番号	6-1-1	施策名	学校教育の推進
施策の目標	地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめます。		

1. 指標の説明

標準学力検査（小学3年生、5年生及び中学2年生が対象）の全42観点のうち、全国平均との比較で「同等以上」の観点数。
小・中学生の学力の育成を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年7月、教育研究所で作成し発行している研究紀要「帯広の子どもの学力」の集計による。
（標準学力検査の実施は、前年の2月）

3. 目標値設定の考え方

達成率100.0%である42観点めざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	26	26	28	29	31	34	38	37	41	40	
26	目標値	26	28	31	34	36	37	38	39	40	41	42
単位	達成率	—	0.0%	40.0%	37.5%	50.0%	72.7%	100.0%	84.6%	107.1%	93.3%	
観点	判定	a	d	c	c	c	b	a	b	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	101	指標名	小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数
所管部課	学校教育部 学校教育課		
施策番号	6-1-1	施策名	学校教育の推進
施策の目標	地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめます。		

1. 指標の説明

小学校の学校図書館における1年間の児童1人当たりの貸出冊数。
児童の豊かな心の育成の取り組みを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

各小学校に設置している図書館システムにより、1年間（毎年4月当初から3月末）の貸出数を集計。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね30%増の11.8冊をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	9.5	10.7	12.0	12.6	14.8	16.8	16.2	16.0	16.0	16.8	
9.1	目標値	9.2	9.4	9.6	9.9	10.1	10.4	10.7	10.9	11.2	11.5	11.8
単位	達成率	400.0%	533.3%	580.0%	437.5%	570.0%	592.3%	443.8%	383.3%	328.6%	320.8%	
冊	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	102	指標名	中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数
所管部課	学校教育部 学校教育課		
施策番号	6-1-1	施策名	学校教育の推進
施策の目標	地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめます。		

1. 指標の説明

中学校の学校図書館における1年間の生徒1人当たりの貸出冊数。
生徒の豊かな心の育成の取り組みを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

各中学校に設置している図書館システムにより、1年間（毎年4月当初から3月末）の貸出数を集計。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね50%増の2.4冊をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	2.4	2.6	3.6	3.4	3.7	3.9	3.7	3.8	4.0	4.3	
1.6	目標値	1.7	1.7	1.7	1.8	1.9	2.0	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4
単位	達成率	800.0%	1000.0%	2000.0%	900.0%	700.0%	575.0%	525.0%	440.0%	400.0%	385.7%	
冊	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	103	指標名	不登校生徒の復帰率
所管部課	学校教育部 学校教育指導室		
施策番号	6-1-1	施策名	学校教育の推進
施策の目標	地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめます。		

1. 指標の説明

中学校における不登校生徒のうち、不登校の状態が改善された率。
生徒の豊かな心の育成を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

- ①不登校生徒のうち、前年度不登校生徒が現年度になり、不登校の状態が改善された率（1・2年生）
②現年度中に不登校状態になり、現年度内で改善された率（3年生）
学校教育指導室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の34.2%増の65.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
基準値	実績値	20.4	36.6	41.4	51.1	44.0	24.0	34.4	28.6	28.7	30.5	
30.8	目標値	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	52.5	55.0	57.5	60.0	62.5	65.0
単位	達成率	51.0%	86.1%	92.0%	107.6%	88.0%	45.7%	62.5%	49.7%	47.8%	48.8%	
%	判 定	d	d	c	a	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/各年度目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

※評価対象年度は、評価実施年度の2カ年前。

指 標 管 理 表

指標番号	104	指標名	学校給食における地場産野菜の導入率
所管部課	学校教育部 学校給食センター		
施策番号	6-1-1	施策名	学校教育の推進
施策の目標	地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめます。		

1. 指標の説明

地場産野菜の使用量が、学校給食に使用する野菜の総使用量に占める割合。食育の推進や健やかな体の育成の取り組みを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

学校給食センターにおける1年間（毎年4月～3月末）の地場産野菜使用量÷野菜総使用量。学校給食センターの集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市食育推進計画に基づき、70.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	57.0	53.0	63.3	58.8	65.5	63.5	53.7	48.3	57.3	63.5	
55.7	目標値	63.0	66.7	67.1	67.4	67.8	68.2	68.5	68.9	69.3	69.6	70.0
単位	達成率	17.8%	-24.5%	66.7%	26.5%	81.0%	62.4%	-15.6%	-56.1%	11.8%	56.1%	
%	判 定	d	d	b	d	b	c	d	d	d	c	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	105	指標名	教職員 1 人当たりの研修受講回数
所管部課	学校教育部 学校教育指導室・学校教育研究所		
施策番号	6-1-1	施策名	学校教育の推進
施策の目標	地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子どもたちの生きる力を育む教育をすすめます。		

1. 指標の説明

本市教育委員会が主催する研修会の教職員 1 人当たりの 1 年間の受講回数。教職員の指導力の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

本市教育委員会が主催する研修会の教職員 1 人当たり 1 年間（毎年 4 月当初から 3 月末）の受講回数。
研修とは、①職務命令による研修、②職務専念義務を免除されて行う研修。

3. 目標値設定の考え方

1 学期に 1 度の割合となる 3.0 回をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	2.1	2.4	2.5	2.5	2.9	3.1	3.3	3.3	3.5	3.4	
2.2	目標値	2.3	2.3	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0
単位	達成率	-100.0%	200.0%	300.0%	150.0%	233.3%	225.0%	220.0%	183.3%	216.7%	171.4%	
回	判定	d	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a : 100.00%以上
b : 66.66%以上100.0%未満
c : 33.33%以上66.66%未満
d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上を a とし、以下 33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	106	指標名	小・中学校校舎の耐震化率
所管部課	学校教育部 企画総務課		
施策番号	6-1-2	施策名	教育環境の充実
施策の目標	学校施設の整備をすすめるとともに、学校、家庭、地域が連携して、子どもたちが安心して生き生きと学ぶことができる教育環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

昭和56年に改正された建築基準法に基づく耐震基準に適合する校舎が、全校舎棟数に占める割合。
安心して学べる学校施設整備の進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末における耐震化済校舎棟数÷全校舎棟数。
企画総務課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

計画的に整備をすすめ、100.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	73.1	74.5	81.3	92.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
46.5	目標値	50.0	50.3	55.8	59.9	70.5	74.1	79.1	79.1	83.5	88.5	100.0
単位	達成率	760.0%	736.8%	374.2%	343.3%	222.9%	193.8%	164.1%	164.1%	144.6%	127.4%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	107	指標名	特別支援学級の設置数
所管部課	学校教育部 学校教育課		
施策番号	6-1-2	施策名	教育環境の充実
施策の目標	学校施設の整備をすすめるとともに、学校、家庭、地域が連携して、子どもたちが安心して生き生きと学ぶことができる教育環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

小中学校における障害種別（知的学級、自閉症・情緒学級、肢体不自由学級、言語学級）ごとに開設した特別支援学級数の合計。
特別支援教育の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

各学校において新たな障害種別（知的学級、自閉症・情緒学級、肢体不自由学級、言語学級のいずれか）の学級が開設されたときに1増とする。
毎年5月1日現在の数値。
学校教育課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

小学校39学級、中学校20学級、合計59学級をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	47	57	61	65	69	72	77	78	80	80	
38	目標値	42	47	53	57	59	59	59	59	59	59	59
単位	達成率	225.0%	211.1%	153.3%	142.1%	147.6%	161.9%	185.7%	190.5%	200.0%	200.0%	
学級	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	108	指標名	学校支援ボランティアを活用した学校数
所管部課	教育委員会 学校教育指導室		
施策番号	6-1-2	施策名	教育環境の充実
施策の目標	学校施設の整備をすすめるとともに、学校、家庭、地域が連携して、子どもたちが安心して生き生きと学ぶことができる教育環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

学校支援ボランティア事業に向けた組織体制が整っている学校数。
学校・家庭・地域の連携の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

学校支援ボランティア事業を実施し、学校支援の組織体制が整っている学校数。
学校教育指導室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

市内全小中学校（40校）での実施をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	15	24	29	31	40	40	40	40	40	40	
2	目標値	15	15	16	17	18	20	24	28	32	36	40
単位	達成率	100.0%	169.2%	192.9%	193.3%	237.5%	211.1%	172.7%	146.2%	126.7%	111.8%	
校	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	109	指標名	帯広南商業高等学校の就職率
所管部課	学校教育部 南商業高等学校		
施策番号	6-1-3	施策名	高等学校教育の推進
施策の目標	高等学校への進学機会の確保をはかるとともに、豊かな社会性を兼ね備え、社会に貢献する人材を育む高等学校教育をすすめます。		

1. 指標の説明

第3学年の就職決定生徒数が、第3学年の就職希望生徒数に占める割合。
帯広南商業高等学校における教育の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

第3学年の学年末時点就職決定生徒数÷ハローワーク及び南商業高等学校を經由した第3学年の就職希望学年末生徒数×100%
帯広南商業高等学校の調査による。

3. 目標値設定の考え方

基準値が100.0%となっていることから、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	100.0	100.0	100.0	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
100.0	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
単位	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
%	判 定	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	110	指標名	帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率
所管部課	教育委員会 南商業高等学校		
施策番号	6-1-3	施策名	高等学校教育の推進
施策の目標	高等学校への進学機会の確保をはかるとともに、豊かな社会性を兼ね備え、社会に貢献する人材を育む高等学校教育をすすめます。		

1. 指標の説明

全国商業高等学校協会が主催する簿記、情報処理、英語等9種目の検定のうち、3種目以上1級を取得している第3学年の生徒数が、第3学年総数に占める割合。
 帯広南商業高等学校における教育の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

3種目以上1級等取得生徒数（第3学年の学年末時点）÷第3学年の学年末生徒数×100%。
 南商業高等学校の集計による。

3. 目標値設定の考え方

例年約100名の就職者と約50名の大学等の経済系の進学者がいることから、合計150人が3学年総数200人に占める割合である75.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	50.5	62.6	65.3	73.4	77.8	81.5	73.5	88.4	77.0	67.5	
46.7	目標値	47.9	48.5	51.0	53.5	56.0	58.5	61.0	64.5	68.0	71.5	75.0
単位	達成率	316.7%	883.3%	432.6%	392.6%	334.4%	294.9%	187.4%	234.3%	142.3%	83.9%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
 a：100.00%以上
 b：66.66%以上100.0%未満
 c：33.33%以上66.66%未満
 d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	111	指標名	新たな大学等の設置数
所管部課	政策推進部 政策室		
施策番号	6-1-4	施策名	高等教育の充実
施策の目標	高度な専門的教育・研究を行い、地域の知の拠点としての役割を担う高等教育機関の整備・充実をすすめます。		

1. 指標の説明

新たな大学等（学部・学科・大学院・共同大学院等）の設置数。
高等教育の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末現在の設置数（高度な専門的教育・研究機能を有する施設を含む）
政策室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

新たな大学等（学部・学科・大学院・共同大学院等）の設置1校をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
—	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
校	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

前年度と比較して大学・学部等が
a：増加
b：—
c：—
d：同水準

5. 評価基準の考え方

目標は、設置1であることから、判定は、aとdの2つとし、
b、cの判定は設定しない。

指 標 管 理 表

指標番号	112	指標名	帯広畜産大学の地域貢献推進事業数
所管部課	政策推進部 政策室		
施策番号	6-1-4	施策名	高等教育の充実
施策の目標	高度な専門的教育・研究を行い、地域の知の拠点としての役割を担う高等教育機関の整備・充実をすすめます。		

1. 指標の説明

「帯広畜産大学と帯広市との包括的連携協力に関する協定書」による連携協力事業数のほか、帯広畜産大学が行っている1年間の地域貢献推進事業数。
帯広畜産大学との連携強化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

「帯広畜産大学と帯広市との包括的連携協力に関する協定書」による連携協力事業数のほか、帯広畜産大学が行っている1年間（毎年4月から3月末）の地域貢献推進事業数。
基準値：3年間平均（128事業（H17）+125事業（H18）+116事業（H19））÷3 = 123）
帯広畜産大学担当課調査を基に帯広市が調整した数値

3. 目標値設定の考え方

過去3年間の平均値である基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	117	117	118	135	162	138	194	193	251	188	
123	目標値	123	123	123	123	123	123	123	123	123	123	123
単位	達成率	95.1%	95.1%	95.9%	109.8%	131.7%	112.2%	157.7%	156.9%	204.1%	152.8%	
事業	判 定	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	113	指標名	帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数
所管部課	生涯学習部 生涯学習課・図書館・百年記念館・とかちプラザ・動物園		
施策番号	6-2-1	施策名	学習活動の推進
施策の目標	生涯にわたって学び、学習の成果を活かすことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広市教育委員会が主催または共催した講座等の1年間の参加者数。
学習活動機会の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会が主催または共催した講座等の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者数。
生涯学習部の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去5年間の最高値である基準値を上回る23,000人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	24,954	26,656	30,138	36,170	37,168	36,753	37,542	38,718	38,432	40,004	
22,590	目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000
単位	達成率	108.5%	115.9%	131.0%	157.3%	161.6%	159.8%	163.2%	168.3%	167.1%	173.9%	
人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	114	指標名	地域について学ぶ講座等への参加者数
所管部課	生涯学習部 生涯学習課・図書館・百年記念館・動物園		
施策番号	6-2-1	施策名	学習活動の推進
施策の目標	生涯にわたって学び、学習の成果を活かすことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広・十勝の歴史や自然・環境、社会・経済等についての理解促進を主たる目的とした講座への1年間の参加者数。
地域についての理解の促進の取り組みを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会が主催または共催した講座等（市民大学講座、博物館講座など）の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者数。
生涯学習部の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去5年間の最高値である基準値を概ね維持することをめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3,311	2,871	5,382	5,601	6,347	5,598	5,355	6,596	6,122	6,428	
4,053	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
単位	達成率	82.8%	71.8%	134.6%	140.0%	158.7%	140.0%	133.9%	164.9%	153.1%	160.7%	
人	判 定	d	d	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	115	指標名	学習成果の活用事例数
所管部課	生涯学習部 生涯学習課・図書館・百年記念館・動物園		
施策番号	6-2-1	施策名	学習活動の推進
施策の目標	生涯にわたって学び、学習の成果を活かすことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広市教育委員会が主催または共催した事業で、当該事業の学習成果を受講者等が自主的活動等に活かした累計事例数。
学習成果の活用の進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会が主催または共催した事業で、当該事業の学習成果を受講者等が自主的活動等に活かした累計事例数（毎年3月末現在）。
生涯学習部の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度1件程度増加させ、10件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3	4	5	6	8	9	9	9	10	8	
1	目標値	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
単位	達成率	—	—	400.0%	250.0%	233.3%	200.0%	160.0%	133.3%	128.6%	87.5%	
件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	116	指標名	地域の指導者の登録者数
所管部課	生涯学習部 生涯学習課		
施策番号	6-2-1	施策名	学習活動の推進
施策の目標	生涯にわたって学び、学習の成果を活かすことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広市教育委員会に登録のある文化、スポーツ、教育等の様々な分野にわたる学習指導者数。地域での学ぶ機会の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会に登録している学習指導者の合計（毎年3月末現在）。生涯学習部の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度5名程度増加させ、190人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	110	107	109	102	116	122	126	166	170	200	
138	目標値	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190
単位	達成率	-1400.0%	-442.9%	-241.7%	-211.8%	-100.0%	-59.3%	-37.5%	75.7%	76.2%	131.9%	
人	判 定	d	d	d	d	d	d	d	b	b	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	117	指標名	市民1人当たりの図書等の貸出点数
所管部課	生涯学習部 図書館		
施策番号	6-2-1	施策名	学習活動の推進
施策の目標	生涯にわたって学び、学習の成果を活かすことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市民1人1年間当たりの市立図書館の貸出点数（視聴覚資料含む）。
図書館サービスの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の貸出点数÷市内の人口（毎年3月末）。
帯広市図書館の利用統計による。

3. 目標値設定の考え方

道内10万人以上の都市の上位レベルである7.0点をめざします

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	5.7	5.7	5.8	5.7	5.7	5.7	5.8	5.6	5.2	5.2	
5.4	目標値	5.5	5.6	5.7	5.9	6.1	6.2	6.4	6.5	6.7	6.9	7.0
単位	達成率	300.0%	150.0%	133.3%	60.0%	42.9%	37.5%	40.0%	18.2%	-15.4%	-13.3%	
点	判 定	a	a	a	c	c	c	c	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	118	指標名	社会教育施設の総利用者数
所管部課	生涯学習部 図書館・百年記念館・とかちプラザ・動物園		
施策番号	6-2-1	施策名	学習活動の推進
施策の目標	生涯にわたって学び、学習の成果を活かすことができる環境づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

図書館、百年記念館、とかちプラザ、動物園の1年間の総利用者数。
社会教育施設の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の図書館利用者数（移動図書館を含む）、百年記念館来館者数（埋蔵文化財センターを含む）、とかちプラザ利用者数及び動物園入園者数の合計。
生涯学習部の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去5年間の最高値である基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	92.2	95.5	94.8	95.7	101.7	100.5	108.0	104.5	110.7	110.6	
95.2	目標値	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2	95.2
単位	達成率	96.8%	100.3%	99.6%	100.5%	106.8%	105.6%	113.4%	109.8%	116.3%	116.2%	
万人	判 定	b	a	b	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	119	指標名	ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数
所管部課	生涯学習部 文化課		
施策番号	6-2-2	施策名	芸術・文化の振興
施策の目標	芸術・文化活動に参加できる環境づくりや芸術にふれる機会の提供により、芸術・文化を振興します。		

1. 指標の説明

帯広市のホームページで文化活動を紹介している団体数。
文化活動の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市のホームページで文化活動を紹介している団体数。（毎年3月末現在）
文化課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

総団体数の概ね80%を維持するとともに、毎年度1団体程度増加させ、272団体をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	259	259	259	263	268	268	273	276	274	266	
260	目標値	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272
単位	達成率	-50.0%	-33.3%	-25.0%	60.0%	133.3%	114.3%	162.5%	177.8%	140.0%	54.5%	
団体	判定	d	d	d	c	a	a	a	a	a	c	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	120	指標名	発表・活動の場への参加団体数
所管部課	生涯学習部 文化課		
施策番号	6-2-2	施策名	芸術・文化の振興
施策の目標	芸術・文化活動に参加できる環境づくりや芸術にふれる機会の提供により、芸術・文化を振興します。		

1. 指標の説明

おびひろ市民芸術祭の参加団体数。
文化活動の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

文化課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度1団体程度増加させ、65団体をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	77	68	50	68	72	87	91	99	106	79	
56	目標値	56	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
単位	達成率	—	—	-600.0%	600.0%	533.3%	775.0%	700.0%	716.7%	714.3%	287.5%	
団体	判定	a	a	d	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	121	指標名	鑑賞事業の入場者数
所管部課	生涯学習部 文化課		
施策番号	6-2-2	施策名	芸術・文化の振興
施策の目標	芸術・文化活動に参加できる環境づくりや芸術にふれる機会の提供により、芸術・文化を振興します。		

1. 指標の説明

帯広市民文化ホールの指定管理者が実施する鑑賞事業の1年間の入場者数。鑑賞機会の提供の取り組みの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市民文化ホールの指定管理者が実施する鑑賞事業の1年間（毎年4月当初から3月末）の入場者数。
文化課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去5年間の最高値である38,000人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	31,415	25,096	18,317	19,726	20,014	24,080	24,706	27,963	28,874	34,800	
34,098	目標値	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
単位	達成率	82.7%	66.0%	48.2%	51.9%	52.7%	63.4%	65.0%	73.6%	76.0%	91.6%	
人	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	c	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	122	指標名	文化施設の利用者数
所管部課	生涯学習部 文化課		
施策番号	6-2-2	施策名	芸術・文化の振興
施策の目標	芸術・文化活動に参加できる環境づくりや芸術にふれる機会の提供により、芸術・文化を振興します。		

1. 指標の説明

帯広市民文化ホール、おびひろグリーンステージ及び帯広市民ギャラリーの1年間の利用者数。
文化施設の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市民文化ホール、おびひろグリーンステージ及び帯広市民ギャラリーの1年間（毎年4月当初から3月末）の利用者数。
文化課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広市民文化ホール及びおびひろグリーンステージは、過去5年間の最高利用者数を維持するとともに、帯広市民ギャラリーの利用者数を加えた60.0万人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	53.6	51.0	49.2	51.9	51.9	54.3	52.0	53.4	55.4	53.6	
54.8	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
単位	達成率	89.3%	85.0%	82.0%	86.5%	86.5%	90.5%	86.7%	89.0%	92.3%	89.3%	
万人	判定	d	d	d	d	d	c	d	d	c	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	123	指標名	スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数
所管部課	生涯学習部 スポーツ振興室		
施策番号	6-2-3	施策名	スポーツの振興
施策の目標	スポーツに親しむことができる環境づくりや各種大会の開催、スポーツの拠点づくりなどをすすめ、スポーツを振興します。		

1. 指標の説明

帯広市教育委員会及びスポーツ施設指定管理者が主催するスポーツ大会、スポーツ教室・講習会の1年間の参加者数。
スポーツ活動の振興を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会及びスポーツ施設指定管理者が主催するスポーツ大会、スポーツ教室・講習会の1年間（毎年4月の当初から3月末）参加者数。
スポーツ振興室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

既存施設においては、過去5年間の最高参加者数（42,000人）を維持し、帯広の森屋内スピードスケート場における参加者数（45,000人）を加えた87,000人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	44,613	70,414	73,561	84,258	96,134	92,135	96,705	68,745	68,871	99,330	
35,677	目標値	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000
単位	達成率	51.3%	80.9%	84.6%	96.8%	110.5%	105.9%	111.2%	79.0%	79.2%	114.2%	
人	判定	d	d	d	b	a	a	a	d	d	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	124	指標名	総合型地域スポーツクラブの設置数
所管部課	生涯学習部 スポーツ振興室		
施策番号	6-2-3	施策名	スポーツの振興
施策の目標	スポーツに親しむことができる環境づくりや各種大会の開催、スポーツの拠点づくりなどをすすめ、スポーツを振興します。		

1. 指標の説明

総合型地域スポーツクラブのクラブ数。
身近な地域におけるスポーツ機会の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

総合型地域スポーツクラブのクラブ数（毎年3月末時点）。
スポーツ振興室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

学校型4か所、施設型1か所の設置をすすめ、現在の3か所を含めた全8か所をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3	3	3	3	3	4	5	5	4	4	
2	目標値	3	3	3	4	4	5	6	6	7	7	8
単位	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	66.7%	75.0%	75.0%	40.0%	40.0%	
ヶ所	判 定	a	a	a	c	c	b	b	b	c	c	

4. 評価基準	5. 評価基準の考え方
達成率が、 a：100.00%以上 b：66.66%以上100.0%未満 c：33.33%以上66.66%未満 d：33.33%未満	達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、 100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	125	指標名	各種スポーツ大会の観客数
所管部課	生涯学習部 スポーツ振興室		
施策番号	6-2-3	施策名	スポーツの振興
施策の目標	スポーツに親しむことができる環境づくりや各種大会の開催、スポーツの拠点づくりなどをすすめ、スポーツを振興します。		

1. 指標の説明

帯広市教育委員会及びスポーツ施設指定管理者が主催するスポーツ鑑賞機会の1年間の観客数。
スポーツを通したにぎわいを測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会及びスポーツ施設指定管理者が主催するスポーツ鑑賞機会の1年間（毎年4月当初から3月末）の観客数。
スポーツ振興室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

既存施設においては、過去5年間の最高観客数（17.3万人）を維持し、帯広の森屋内スピードスケート場における観客数（3.5万人）を加えた20.8万人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	17.3	20.5	20.5	20.8	23.1	22.8	20.9	19.3	20.9	22.3	
16.0	目標値	18.2	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8
単位	達成率	95.1%	98.6%	98.6%	100.0%	111.1%	109.6%	100.5%	92.8%	100.5%	107.2%	
万人	判 定	b	b	b	a	a	a	a	c	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	126	指標名	スポーツ合宿団体数
所管部課	生涯学習部 スポーツ振興室		
施策番号	6-2-3	施策名	スポーツの振興
施策の目標	スポーツに親しむことができる環境づくりや各種大会の開催、スポーツの拠点づくりなどをすすめ、スポーツを振興します。		

1. 指標の説明

本市でスポーツ合宿等を行った1年間の団体数。
スポーツを通したにぎわいと交流を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

本市でスポーツ合宿等を行った1年間（毎年4月当初から3月末）の団体数。
帯広市研修センターに宿泊している団体数の合計（研修目的の団体を除いた件数）に帯広市内の民間宿泊施設に宿泊した件数。
スポーツ振興室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

帯広の森屋内スピードスケート場に係る利用者増をはかり、200団体をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	190	200	215	212	221	214	222	227	216	154	
150	目標値	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
単位	達成率	95.0%	100.0%	107.5%	106.0%	110.5%	107.0%	111.0%	113.5%	108.0%	77.0%	
団体	判定	b	a	a	a	a	a	a	a	a	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	127	指標名	スポーツ施設の利用者数
所管部課	生涯学習部 スポーツ振興室		
施策番号	6-2-3	施策名	スポーツの振興
施策の目標	スポーツに親しむことができる環境づくりや各種大会の開催、スポーツの拠点づくりなどをすすめ、スポーツを振興します。		

1. 指標の説明

帯広市教育委員会が所管するスポーツ施設の1年間の利用者数。
スポーツ施設の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市教育委員会が所管するスポーツ施設の1年間（毎年4月当初から3月末）の利用者数。
スポーツ振興室の集計による。

3. 目標値設定の考え方

既存施設においては、過去5年間の最高利用者数（114.6万人）を維持し、帯広の森屋内スピードスケート場における利用者数（14.0万人）を加えた128.6万人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	126.6	132.0	136.8	139.0	137.0	136.5	137.0	124.1	107.8	113.0	
114.8	目標値	124.7	128.6	128.6	128.6	128.6	128.6	128.6	128.6	128.6	128.6	128.6
単位	達成率	101.5%	102.6%	106.4%	108.1%	106.5%	106.1%	106.5%	96.5%	83.8%	87.9%	
万人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	b	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	128	指標名	平和啓発事業の参加者数
所管部課	市民活動部 市民活動推進課		
施策番号	7-1-1	施策名	人権尊重と平和な社会の形成
施策の目標	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和な社会の実現をめざします。		

1. 指標の説明

平和啓発事業の1年間の参加者数。
平和に関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

平和事業（対象事業：語り継ぐ核兵器廃絶平和展、企画展、平和コンサート、千羽鶴を送る運動、原爆パネル移動展（学校）、平和の絵、平和の詩など）の1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者数。
市民活動推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね20%増の2,600人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	2,105	2,111	1,740	2,598	2,385	2,965	4,084	2,633	3,914	4,392	
2,100	目標値	2,135	2,150	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500	2,550	2,600
単位	達成率	14.3%	22.0%	-360.0%	332.0%	142.5%	346.0%	661.3%	152.3%	453.5%	509.3%	
人	判 定	d	d	d	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	129	指標名	要保護児童の相談件数
所管部課	こども未来部 子育て支援課		
施策番号	7-1-1	施策名	人権尊重と平和な社会の形成
施策の目標	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和な社会の実現をめざします。		

1. 指標の説明

帯広市における要保護児童に係る1年間の相談件数。
児童相談体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市における要保護児童に係る1年間（毎年4月当初から3月末）の相談（育児不安、虐待の疑いや未然防止につながるための相談）件数。
子育て支援課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度30件程度増加させ、520件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	318	407	433	510	549	596	534	592	814	748	
190	目標値	240	268	296	324	352	380	408	436	464	492	520
単位	達成率	256.0%	278.2%	229.2%	238.8%	221.6%	213.7%	157.8%	163.4%	227.7%	184.8%	
件	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	130	指標名	配偶者等からの暴力に係る相談件数
所管部課	市民活動部 男女共同参画推進課		
施策番号	7-1-1	施策名	人権尊重と平和な社会の形成
施策の目標	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和な社会の実現をめざします。		

1. 指標の説明

配偶者等からの暴力に係る1年間の相談件数。
配偶者等からの暴力に係る相談体制の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

男女共同参画推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去5年間の最高値89件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	85	119	155	177	226	227	321	252	201	234	
63	目標値	65	65	67	69	71	74	77	80	83	86	89
単位	達成率	1100.0%	2800.0%	2300.0%	1900.0%	2037.5%	1490.9%	1842.9%	1111.8%	690.0%	743.5%	
件	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	131	指標名	審議会等の女性の参画率
所管部課	市民活動部 男女共同参画推進課		
施策番号	7-1-2	施策名	男女共同参画社会の推進
施策の目標	男女がお互いを尊重し、対等なパートナーとして助け合い、個性と能力を発揮できる社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

本市の審議会等への女性の参画率。
市の政策や方針決定過程への女性の参画を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

本市の附属機関の女性委員数÷市が設置する附属機関（常設設置）の現委員数×100。
男女共同参画推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

国の審議会等における女性委員の登用率（H32までに40%以上をめざす）を踏まえ、40.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	31.2	34.5	34.8	34.6	33.8	32.5	33.0	32.3	31.6	32.1	
31.5	目標値	32.0	32.8	33.6	34.4	35.2	36.0	36.8	37.6	38.4	39.2	40.0
単位	達成率	-60.0%	230.8%	157.1%	106.9%	62.2%	22.2%	28.3%	13.1%	1.4%	7.8%	
%	判 定	d	a	a	a	c	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	132	指標名	育児休業制度を規定している事業所の割合
所管部課	市民活動部 男女共同参画推進課		
施策番号	7-1-2	施策名	男女共同参画社会の推進
施策の目標	男女がお互いを尊重し、対等なパートナーとして助け合い、個性と能力を発揮できる社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

育児休業制度導入事業所が、市が実施する事業所雇用実態調査対象事業所に占める割合。男女がともに仕事と家庭が両立できる雇用環境の充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

育児休業制度導入事業所数÷調査対象事業所数
事業所雇用実態調査報告書（工業労政課調査）による。

3. 目標値設定の考え方

過去3年間の最高値31.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	30.3	33.1	29.9	44.3	47.3	50.2	48.7	52.4	57.0	52.3	
25.2	目標値	25.5	25.7	26.2	26.8	27.4	28.0	28.6	29.2	29.8	30.4	31.0
単位	達成率	1700.0%	1580.0%	470.0%	1193.8%	1004.5%	892.9%	691.2%	680.0%	691.3%	521.2%	
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	133	指標名	UDに関する講座等への参加者数
所管部課	政策推進部 企画課		
施策番号	7-1-3	施策名	ユニバーサルデザインの推進
施策の目標	誰もが安全で安心して暮らせるユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市が実施するUD教室や出前講座等への1年間の参加者数。
UDに関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市が実施するUD教室や出前講座等への1年間（毎年4月当初から3月末）の参加者数。
企画課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね60%増の370人をめざします。

	H19（基準）	H26	H31
教室・講座	4回/年（234人）	→ 4回/年（234人）	→ 5回（295人）
講演会等	0回/年（0人）	→ 1回/年（50人）	→ 1回（75人）

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	333	98	321	241	272	310	294	530	365	391	
234	目標値	234	234	234	234	234	284	284	284	284	284	370
単位	達成率	—	—	—	—	—	152.0%	120.0%	592.0%	262.0%	314.0%	
人	判定	a	d	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	134	指標名	UDアドバイザーの相談件数
所管部課	都市建設部 建築指導課		
施策番号	7-1-3	施策名	ユニバーサルデザインの推進
施策の目標	誰もが安全で安心して暮らせるユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

UDの住宅設計について、専門的な立場で普及・啓発や指導を行うアドバイザーによる1年間の相談件数。
UDに関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

UDの住宅設計について、専門的な立場で普及・啓発や指導を行うアドバイザーによる1年間（毎年4月当初から3月末）の相談件数。
建築指導課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

数値は減少傾向にありますが、基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	43	57	52	53	62	62	57	48	46	45	
57	目標値	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57
単位	達成率	75.4%	100.0%	91.2%	93.0%	108.8%	108.8%	100.0%	84.2%	80.7%	78.9%	
件	判 定	d	a	c	c	a	a	a	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	135	指標名	住宅1万戸当たりの貸付・補助利用戸数
所管部課	都市建設部 建築指導課		
施策番号	7-1-3	施策名	ユニバーサルデザインの推進
施策の目標	誰もが安全で安心して暮らせるユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広市UD住宅建設資金貸付・住宅改造資金補助制度及び融雪施設設置資金貸付制度を利用した累計住宅戸数が、木造専用住宅戸数に占める1万戸当たりの割合。
UD住宅の普及を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広市UD住宅建設資金貸付・住宅改造資金補助制度及び融雪施設設置資金貸付制度を利用した累計利用者数÷木造専用住宅戸×10,000戸。（毎年3月末時点）
建築指導課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度10戸程度増加させ、307戸をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	209	219	231	242	249	262	262	270	274	280	
179	目標値	203	213	224	234	245	256	266	276	287	297	307
単位	達成率	125.0%	117.6%	115.6%	114.5%	106.1%	107.8%	95.4%	93.8%	88.0%	85.6%	
戸	判 定	a	a	a	a	a	a	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	136	指標名	都市公園のバリアフリー化率
所管部課	都市建設部 みどりの課		
施策番号	7-1-3	施策名	ユニバーサルデザインの推進
施策の目標	誰もが安全で安心して暮らせるユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

都市公園のうち、園路やトイレ、駐車場等の公園施設が、高齢者や障害者等の身体的負担を軽減する整備がされている公園数の割合。
誰もが安心して利用できる公共施設の整備の進捗を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

都市計画区域内で開設された都市公園（墓園含む）数のうち、主な特定公園施設（園路・広場、トイレ、駐車場）が、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に適合している都市公園数の比率。（毎年3月末現在）
みどりの課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

計画的に整備をすすめ、50.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	36.4	36.8	39.7	40.2	41.3	42.9	44.3	44.8	45.3	45.3	
35.4	目標値	36.4	36.8	38.9	41.2	42.0	43.4	44.7	46.6	48.4	49.5	50.0
単位	達成率	100.0%	100.0%	122.9%	82.8%	89.4%	93.8%	95.7%	83.9%	76.2%	70.2%	
%	判 定	a	a	a	b	b	b	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	137	指標名	アイヌ民族文化情報センターの利用者数
所管部課	生涯学習部 百年記念館		
施策番号	7-1-4	施策名	アイヌの人たちの誇りの尊重
施策の目標	アイヌの人たちの歴史や文化などに関する理解を促進し、民族としての誇りが尊重される社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

帯広百年記念館に開設しているアイヌ民族文化情報センター「リウカ」の1年間の利用者数。アイヌ民族の歴史・文化に関する理解を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

帯広百年記念館に開設しているアイヌ民族文化情報センター「リウカ」の1年間（毎年4月初から3月末）の利用者数。
百年記念館の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値を上回る5,000人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	5,863	6,617	18,283	18,724	19,039	20,605	19,231	25,815	24,744	21,233	
4,939	目標値	4,950	4,960	4,980	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
単位	達成率	118.4%	133.4%	367.1%	374.5%	380.8%	412.1%	384.6%	516.3%	494.9%	424.7%	
人	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/各年度目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	138	指標名	生活館の利用者数
所管部課	保健福祉部 社会課		
施策番号	7-1-4	施策名	アイヌの人たちの誇りの尊重
施策の目標	アイヌの人たちの歴史や文化などに関する理解を促進し、民族としての誇りが尊重される社会づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

アイヌの人々の交流の場である生活館の1年間の利用者数。
アイヌの人たちの生活文化の向上や社会福祉の増進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

アイヌの人々の交流の場である生活館の1年間（毎年4月当初から3月末）の利用者数。
社会課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の24,500人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	23,754	20,842	20,285	20,533	18,776	20,102	21,786	20,974	19,406	19,034	
22,126	目標値	22,285	22,360	22,600	22,840	23,070	23,310	23,550	23,790	24,020	24,260	24,500
単位	達成率	1023.9%	-548.7%	-388.4%	-223.1%	-354.9%	-170.9%	-23.9%	-69.2%	-143.6%	-144.9%	
人	判定	a	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	139	指標名	町内会加入率
所管部課	市民活動部 市民活動推進課		
施策番号	7-2-1	施策名	地域コミュニティの形成
施策の目標	町内会などの自主的な活動を支援し、ともに支え合う地域コミュニティの形成をはかります。		

1. 指標の説明

町内会加入の世帯が全世帯数に占める割合。
コミュニティ意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

町内会加入世帯数÷全世帯数（居住世帯数）（毎年3月末現在）。
市民活動推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

町内会未加入世帯が増加傾向にありますが、毎年度0.1%程度増加させ、70.7%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	68.0	67.6	66.8	66.2	65.2	64.1	63.6	63.2	62.1	61.4	
69.6	目標値	69.7	69.8	69.9	70.0	70.1	70.2	70.3	70.4	70.5	70.6	70.7
単位	達成率	-1600.0%	-1000.0%	-933.3%	-850.0%	-880.0%	-916.7%	-857.1%	-800.0%	-833.3%	-820.0%	
%	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.660%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	140	指標名	市民1人当たりのコミュニティ施設の利用回数
所管部課	市民活動部 市民活動推進課		
施策番号	7-2-1	施策名	地域コミュニティの形成
施策の目標	町内会などの自主的な活動を支援し、ともに支え合う地域コミュニティの形成をはかります。		

1. 指標の説明

市民1人1年間当たりのコミュニティ施設の利用回数。
 (各コミュニティ施設の1年間の利用者数÷帯広市の人口)
 コミュニティ活動を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

各施設の1年間(毎年4月当初から3月末)の利用者数÷帯広市の人口(毎年3月末現在)。
 各施設から提出される月別利用状況報告書の集計による。

3. 目標値設定の考え方

市民1人当たり5.0回の利用をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	4.6	4.5	4.5	4.1	4.2	4.0	4.0	3.8	3.9	3.7	
4.8	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
単位	達成率	92.0%	90.0%	90.0%	82.0%	84.0%	80.0%	80.0%	76.0%	78.0%	74.0%	
回	判定	c	c	c	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
 a : 100.0%以上
 b : 95.0%以上100.0%未満
 c : 90.0%以上95.0%未満
 d : 90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率(実績値/目標値)が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	141	指標名	姉妹都市や友好都市等の交流人数
所管部課	市民活動部 親善交流課		
施策番号	7-2-2	施策名	国内・国際交流の推進
施策の目標	国内外の都市や地域との交流をすすめ、異なる文化とふれあい、人と人とのつながりを通して、魅力ある地域づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

国内外の姉妹都市・友好都市及び地域間の1年間の合計交流人数。
交流の促進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

国内外の姉妹都市・友好都市及び地域間の1年間（毎年4月当初から3月末）の合計交流人数。
親善交流課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の360人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	356	358	365	443	476	365	434	411	341	494	
330	目標値	332	333	336	339	343	346	349	353	356	359	360
単位	達成率	1300.0%	933.3%	583.3%	1255.6%	1123.1%	218.8%	547.4%	352.2%	42.3%	565.5%	
人	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	c	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	142	指標名	国際交流ボランティアの登録者数
所管部課	市民活動部 親善交流課		
施策番号	7-2-2	施策名	国内・国際交流の推進
施策の目標	国内外の都市や地域との交流をすすめ、異なる文化とふれあい、人と人とのつながりを通して、魅力ある地域づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

国際交流ボランティアの登録者数。
市民主体の国際交流の促進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年3月末現在のとちぎ国際交流ボランティア登録者数による。
親善交流課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の395人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	357	364	367	371	374	384	427	447	465	456	
359	目標値	362	363	367	370	374	377	381	384	388	391	395
単位	達成率	-66.7%	125.0%	100.0%	109.1%	100.0%	138.9%	309.1%	352.0%	365.5%	303.1%	
人	判定	d	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a : 100.00%以上
b : 66.66%以上100.0%未満
c : 33.33%以上66.66%未満
d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	143	指標名	国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数
所管部課	市民活動部 親善交流課		
施策番号	7-2-2	施策名	国内・国際交流の推進
施策の目標	国内外の都市や地域との交流をすすめ、異なる文化とふれあい、人と人とのつながりを通して、魅力ある地域づくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市が実施する国際交流事業の1年間の参加者数。
諸外国文化に関する理解や国際性の醸成を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市が実施する国際交流事業の1年間（毎年4月から3月末）の参加者数。
親善交流課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の9,350人をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	7,862	7,898	8,968	8,729	9,023	9,528	9,732	10,570	10,099	10,105	
8,465	目標値	8,500	8,585	8,670	8,755	8,840	8,925	9,010	9,095	9,180	9,265	9,350
単位	達成率	-1722.9%	-472.5%	245.4%	91.0%	148.8%	231.1%	232.5%	334.1%	228.5%	205.0%	
人	判定	d	d	a	b	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	144	指標名	市民協働の実践事例数
所管部課	市民活動部 市民活動推進課		
施策番号	8-1-1	施策名	市民協働のまちづくりの推進
施策の目標	市民と行政が情報を共有し、まちづくりへの市民参加をすすめ、市民協働のまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

各課が市民との協働で取り組んだ1年間の「協働の実践事例」の数。
市民協働のまちづくりの推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

「協働の実践事例」としてHPで公表し継続している事業と新たに「協働の実践事例」として公表する数の1年間（毎年4月当初から3月末）合計事例数。
市民活動推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度3事業程度増加させ、100事業をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	75	74	76	81	87	92	108	113	114	112	
70	目標値	72	73	76	79	82	85	88	91	94	97	100
単位	達成率	250.0%	133.3%	100.0%	122.2%	141.7%	146.7%	211.1%	204.8%	183.3%	155.6%	
事業	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、

a : 100.00%以上

b : 66.66%以上100.0%未満

c : 33.33%以上66.66%未満

d : 33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	145	指標名	市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数
所管部課	市民活動部 市民活動推進課		
施策番号	8-1-1	施策名	市民協働のまちづくりの推進
施策の目標	市民と行政が情報を共有し、まちづくりへの市民参加をすすめ、市民協働のまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

市民団体等が主体的に実施する市民協働の取り組みに対して支援を行う「市民提案型協働のまちづくり支援事業」の1年間の応募団体数。
市民協働のまちづくりの推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

市民団体等が主体的に実施する市民協働の取り組みに対して支援を行う「市民提案型協働のまちづくり支援事業」の1年間（毎年4月当初から3月末）の応募団体数。
市民活動推進課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去3年間の事業応募数の最高値を超える15団体をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	8	14	15	14	17	14	12	9	11	16	
10	目標値	12	13	13	13	13	13	15	15	15	15	15
単位	達成率	-100.0%	133.3%	166.7%	133.3%	233.3%	133.3%	40.0%	-20.0%	20.0%	120.0%	
団体	判定	d	a	a	a	a	a	c	d	d	a	

4. 評価基準

達成率が、

a：100.00%以上

b：66.66%以上100.0%未満

c：33.33%以上66.66%未満

d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	146	指標名	広報おびひろの配布率
所管部課	政策推進部 広報広聴課		
施策番号	8-1-1	施策名	市民協働のまちづくりの推進
施策の目標	市民と行政が情報を共有し、まちづくりへの市民参加をすすめ、市民協働のまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

広報おびひろの配布部数が市内の全世帯数に占める割合。
行政と市民との情報共有を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

配布部数（※）÷世帯数（各月末）。
年度（広報おびひろ5月号～翌年4月号）ごとに、各月の平均値を算出する。
※配布部数は町内会・未組織・公共施設・スーパー・コンビニ等への総配布部数。
広報広聴課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

全世帯配布である100.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	95.1	93.5	92.4	90.6	89.3	88.1	86.7	85.4	83.9	83.2	
97.8	目標値	98.0	98.1	98.3	98.5	98.7	98.9	99.1	99.3	99.5	99.7	100.0
単位	達成率	-1350.0%	-1433.3%	-1080.0%	-1028.6%	-944.4%	-881.8%	-853.8%	-826.7%	-817.6%	-768.4%	
%	判 定	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	

4. 評価基準	5. 評価基準の考え方
達成率が、 a：100.00%以上 b：66.66%以上100.0%未満 c：33.33%以上66.66%未満 d：33.33%未満	達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、 100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	147	指標名	パブリックコメント1件当たりの意見件数
所管部課	政策推進部 広報広聴課		
施策番号	8-1-1	施策名	市民協働のまちづくりの推進
施策の目標	市民と行政が情報を共有し、まちづくりへの市民参加をすすめ、市民協働のまちづくりをすすめます。		

1. 指標の説明

パブリックコメント1件当たりの平均意見件数。
市政への市民の参画を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

1年間（毎年4月当初から3月末）の総意見件数÷総案件数。
広報広聴課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

過去3年間の平均値である基準値の20%増の12件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H17-19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	20	9	8	2	5	15	9	15	6	4	
10	目標値	10	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12
単位	達成率	—	—	—	—	-500.0%	500.0%	-100.0%	500.0%	-200.0%	-300.0%	
件	判 定	a	d	d	d	d	a	d	a	d	d	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	148	指標名	実質赤字比率
所管部課	政策推進部 財政課		
施策番号	8-1-2	施策名	自治体経営の推進
施策の目標	計画的な行政運営や健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営をすすめます。		

1. 指標の説明

最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字額の本市の財政規模に対する割合。
 （黒字の場合は算定されないため、「－」と表示しています。）
 地方公共団体財政健全化法に基づき、財政の健全化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度の決算における一般会計等実質赤字額÷標準財政規模。
 財政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の維持（赤字が生じないこと）をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

一般会計等の実質赤字額が
 a：生じない場合（黒字）
 b：－
 c：－
 d：生じた場合（赤字）

5. 評価基準の考え方

基準値の維持（赤字が生じないこと）をめざしていることから、実質赤字が生じない場合はaとし、生じた場合はdとする。
 b、cは設定しない。

指 標 管 理 表

指標番号	149	指標名	連結実質赤字比率
所管部課	政策推進部 財政課		
施策番号	8-1-2	施策名	自治体経営の推進
施策の目標	計画的な行政運営や健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営をすすめます。		

1. 指標の説明

上下水道等の公営企業を含む「全会計」に生じている赤字額の本市の財政規模に対する割合。
 （黒字の場合は算定されないため、「－」と表示しています。）
 地方公共団体財政健全化法に基づき、財政の健全化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度の決算における連結赤字額（一般会計・特別会計の実質収支及び企業会計の資金不足・剰余額の合計）÷標準財政規模。
 財政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の維持（赤字が生じないこと）をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

全会計の実質赤字が
 a：生じない場合（黒字）
 b：－
 c：－
 d：生じた場合（赤字）

5. 評価基準の考え方

基準値の維持（赤字が生じないこと）をめざしていることから、実質赤字が生じない場合はaとし、生じた場合はdとする。
 b、cは設定しない。

指 標 管 理 表

指標番号	150	指標名	実質公債費比率
所管部課	政策推進部 財政課		
施策番号	8-1-2	施策名	自治体経営の推進
施策の目標	計画的な行政運営や健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営をすすめます。		

1. 指標の説明

借入金（地方債）に対する返済額（公債費）の本市の財政規模に対する割合。
地方公共団体財政健全化法に基づき、財政の健全化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年度の決算における（元利償還金＋準元利償還金－元利償還金等に係る交付税措置額）÷
（標準財政規模－元利償還金等に係る交付税措置額）。
財政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	12.1	11.7	11.0	10.4	10.0	9.5	8.9	8.5	8.7	8.9	
12.5	目標値	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
%	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

実質公債費比率が
a：12.5%以下
b：—
c：—
d：12.5%超

5. 評価基準の考え方

基準値の12.5%の維持をめざしていることから、12.5%以下をaとし、12.5%を超えた場合はdとする。
b、cは設定しない。

指 標 管 理 表

指標番号	151	指標名	将来負担比率
所管部課	政策推進部 財政課		
施策番号	8-1-2	施策名	自治体経営の推進
施策の目標	計画的な行政運営や健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営をすすめます。		

1. 指標の説明

借入金（地方債）等の現在抱えている負債額の本市の財政規模に対する割合。
地方公共団体財政健全化法に基づき、財政の健全化を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

前年度の決算における将来負担額（地方債残高、公債費に準ずる債務負担行為残高、企業会計・一部事務組合の地方債残高のうち一般会計の負担見込額等）から充当可能財源（交付税措置見込額、特定財源見込額、充当可能基金残高等）を控除したものの標準財政規模に対する割合。
財政課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の維持をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	117.9	110.2	109.1	109.4	113.5	116.0	105.3	112.0	102.3	91.1	
121.9	目標値	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9	121.9
単位	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
%	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

将来負担比率が
a：121.9%以下
b：—
c：—
d：121.9%超

5. 評価基準の考え方

基準値の121.9%の維持ををめざしていることから、121.9%以下をaとし、121.9%を超えた場合はdとする。
b、cは設定しない。

指 標 管 理 表

指標番号	152	指標名	自治体間連携の取り組み件数
所管部課	政策推進部 政策室		
施策番号	8-1-3	施策名	広域行政の推進
施策の目標	管内自治体との連携による、広域的な取り組みをすすめるとともに、道内各都市との連携・交流をすすめます。		

1. 指標の説明

地方自治法に基づく事務の共同処理や相互協力、その他法令に基づく協定、任意の協議会等、自治体間が連携して取り組んでいる件数。
広域的な行政運営の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

①国の法令や要綱に基づき設置される組織等において共同処理される事務（一部事務組合、企業団）
②国の法令や要綱、道の条例などに基づき締結される協定や、組織される協議会など（協定、法定協議会）
③帯広市が構成員となる任意の自治体間の連携組織・体制で、負担金等を予算措置しているもの（ただし、定例的会合による情報交換だけのものは除き、要望活動やPR活動など具体的事業を実施している組織・体制）
政策室の調査による。

3. 目標値設定の考え方

基準値の概ね10%増の91件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	84	85	105	105	105	105	107	103	102	101	
83	目標値	84	84	85	85	86	86	87	88	89	90	91
単位	達成率	100.0%	200.0%	1100.0%	1100.0%	733.3%	733.3%	600.0%	400.0%	316.7%	257.1%	
件	判 定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.660%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。
なお、目標値と基準値が同じ場合は、目標値以上をa、目標値未満をdとする。

指 標 管 理 表

指標番号	153	指標名	諸証明交付時間に対する満足度（満点＝5.0）
所管部課	市民環境部 戸籍住民課		
施策番号	8-2-1	施策名	行政サービスの充実
施策の目標	事務の効率化や職員の能力向上をはかり、市民ニーズに的確に対応した行政サービスを提供します。		

1. 指標の説明

戸籍住民課の窓口で実施している諸証明交付時間に係る市民アンケート（5点満点（5.短い 4.やや短い 3.普通 2.やや長い 1.長い））の平均点。
利用しやすい行政サービスの充実を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年、9月と2月の2度実施している平均値。
戸籍住民課の市民アンケート集計結果による。

3. 目標値設定の考え方

基準値を上回る4.0をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	
3.7	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
単位	達成率	95.0%	95.0%	95.0%	97.5%	97.5%	100.0%	95.0%	95.0%	97.5%	97.5%	
—	判 定	b	b	b	b	b	a	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	154	指標名	施設予約等のインターネットによる手続等件数
所管部課	総務部 情報システム課		
施策番号	8-2-1	施策名	行政サービスの充実
施策の目標	事務の効率化や職員の能力向上をはかり、市民ニーズに的確に対応した行政サービスを提供します。		

1. 指標の説明

公共施設の予約、図書の貸出予約、大型ごみの受付、電子申請・様式ダウンロード等、インターネットを利用して市民が1年間に手続を行った件数。
行政の情報化の推進を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

公共施設の予約、図書の貸出予約、大型ごみの受付、電子申請・様式ダウンロード等、インターネットを利用して市民が1年間（毎年4月当初から3月末）に手続を行った件数。
H19実績値10,317件（施設3,742件、図書8,677冊／1.7（1人当たり平均貸出冊数）＝5,104件、大型ゴミ363件、様式ダウンロード1,108件）
情報システム課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度10%程度利用を増加させ、26,800件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	14,332	13,662	12,902	13,847	14,560	14,180	15,754	19,690	19,973	21,147	
10,317	目標値	11,050	11,300	12,500	13,700	15,100	16,600	18,300	20,100	22,100	24,300	26,800
単位	達成率	547.7%	340.3%	118.4%	104.3%	88.7%	61.5%	68.1%	95.8%	81.9%	77.5%	
件	判 定	a	a	a	a	b	c	b	b	b	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	155	指標名	職員提案制度の実施率
所管部課	総務部 行政推進室		
施策番号	8-2-1	施策名	行政サービスの充実
施策の目標	事務の効率化や職員の能力向上をはかり、市民ニーズに的確に対応した行政サービスを提供します。		

1. 指標の説明

事務の改善案を提案した職場（課）数が、全体の職場（課）数に占める割合。職員の事務改善に関する意識の向上を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

「帯広市職員カイゼン運動」実施要領に基づき、事務の改善を提案した課の数／全体の課の数。
行政推進室の集計による。（H21から実施）

3. 目標値設定の考え方

全ての職場において改善提案がなされた状態をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
—	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	16.3	36.3	78.8	89.9	93.7	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0	
—	目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
単位	達成率	32.6%	66.0%	131.3%	138.3%	133.9%	130.0%	125.0%	117.6%	111.1%	105.3%	
%	判 定	d	c	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値÷各年度目標値）が、100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	156	指標名	建設工事等の一般競争入札実施率
所管部課	総務部 契約管財課		
施策番号	8-2-2	施策名	行政事務の適正な執行
施策の目標	行政運営における公正の確保、透明性の向上をはかり、適正に事務を執行します。		

1. 指標の説明

一般競争入札実施件数が、建設工事等の契約件数に占める割合。
透明性・公平性の高い契約の実施を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

毎年4月当初から3月末までの一般競争入札実施総件数÷建設工事等契約総件数。
契約管財課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

一般競争入札を拡大し、建設工事等契約の発注に係る契約の95.0%をめざします。
建設工事等の契約件数には小額の随意契約も5%程度含まれており、これを除いた発注で一般競争入札の実施を拡大していく。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	47.9	43.4	49.4	51.7	44.2	44.1	65.9	63.3	74.5	89.3	
38.0	目標値	47.0	48.0	48.0	70.0	70.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
単位	達成率	110.0%	54.0%	114.0%	42.8%	19.4%	10.7%	48.9%	44.4%	64.0%	90.0%	
%	判 定	a	c	a	c	d	d	c	c	c	b	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	157	指標名	普通財産の有効利用率
所管部課	総務部 契約管財課		
施策番号	8-2-2	施策名	行政事務の適正な執行
施策の目標	行政運営における公正の確保、透明性の向上をはかり、適正に事務を執行します。		

1. 指標の説明

契約管財課が所管する普通財産（土地）の貸付面積の割合。
適切な公有財産の管理を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

普通財産貸付面積（土地）÷ 普通財産の面積（土地）（毎年3月末現在）。
契約管財課の集計による。

3. 目標値設定の考え方

毎年度0.4%程度増加させ、67.0%をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H20	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	65.2	67.5	65.7	62.8	66.3	65.7	65.4	64.5	74.6	77.5	
63.0	目標値	63.2	63.4	63.8	64.2	64.6	65.0	65.4	65.8	66.2	66.6	67.0
単位	達成率	1100.0%	1125.0%	337.5%	-16.7%	206.3%	135.0%	100.0%	53.6%	362.5%	402.8%	
%	判 定	a	a	a	d	a	a	a	c	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.00%以上
b：66.66%以上100.0%未満
c：33.33%以上66.66%未満
d：33.33%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（（実績値－基準値）÷（各年度目標値－基準値））が、
100.00%以上をaとし、以下33.33%ごとに基準を設定した。

指 標 管 理 表

指標番号	158	指標名	監査等の実施件数
所管部課	監査委員事務局		
施策番号	8-2-2	施策名	行政事務の適正な執行
施策の目標	行政運営における公正の確保、透明性の向上をはかり、適正に事務を執行します。		

1. 指標の説明

地方自治法に規定する各種監査等の1年間の実施件数。
行政事務の適正な執行を測る指標として設定します。

2. 実績値の算定方法、出典等

例月現金出納検査12回・決算審査1回・比率等審査1回・定期監査2回の合計16回を基本に、行政監査、財政援助団体監査、出資団体監査、指定管理者監査等の実施件数を加えた件数。（毎年4月当初から3月末までの1年間の数値）
監査委員事務局の実施集計による。

3. 目標値設定の考え方

例月現金出納検査等定例的なもののほか、時代に応じた行政監査、財政援助団体監査、出資団体監査等の実施により、18件をめざします。

基準年	評価実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H19	評価対象年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
基準値	実績値	18	18	18	18	18	18	18	18	20	19	
16	目標値	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
単位	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	111.1%	105.6%	
件	判定	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	

4. 評価基準

達成率が、
a：100.0%以上
b：95.0%以上100.0%未満
c：90.0%以上95.0%未満
d：90.0%未満

5. 評価基準の考え方

達成率（実績値/目標値）が100.0%以上をaとし、5.0%ごとに基準を設定した。